京城日報

（十一月改正）列車時間表 [illegible]

歐洲大戰亂

▲勃の全軍塞都に向ふ

勃牙利軍の第一軍はザエカルより第二軍はクイアシエヴオツツより第三軍はウラニアより第四軍はピヤツトより何れもニツシユに向け前進中なり（倫敦電報）

▲勃軍ベ市占領

雅典來電に據れば勃軍の二師團はベツシアを占領しモナスケーに前進して同地の住民は續々退去中なり（倫敦電報）

▲英艦奏効

敗殘の英軍戰艦は小亞細亞のベスメを砲擊し奏効せり（倫敦電報）

▲佛內閣辭職か

雅典來電に曰く非公式の報に依ればザイミス內閣は外交政策の論議に破られたるを以て辭職するならんと觀測せらる（紐育電報）

▲獨逸敗戰認容

獨逸公報はスーシエの北方に於て佛軍の爲め約一千メートル塹壕を奪取せられたるを認容し又たミクリスキに於ても撃退せられたりと言へり（紐育電報）

◎女子勳章佩用心得

宮內省にては告示第二十六號を以て宮中に參入する女子の勳章佩用心得を公布せり（東京特電）

◎兩汽船會社競爭

大阪商船尼ケ崎二汽船會社間に競爭起り門司に於ては五日發表され競爭激甚を極めつゝあり（門司特電）

◎支那東蒙移民

東蒙古開發の爲め內務部にては旅費移出章にて募集費移入章にて居住費を支出し直隷山東省民を移住せしむるに決したれば近く之が實行を見る可し（奉天特電）

◎段氏記者團招宴

段上將軍五日奉天記者團を招き晩餐會を公署に開く（奉天特電）

◎下村新民政長官

新任臺灣民政長官下村宏氏は五日朝亞米利加丸にて下關着渡臺せり（門司特電）

雜報

◎輸入煙草激減 産業上の好現象

總督府專賣課の調査に依れば大正四年上半期間即ち一月一日以降六月末までに於ける輸移入煙草は口付卷煙草六十一萬九千本價額二千八百八十九圓、兩切卷煙草七百六萬七千本價格三萬四千三百七十圓、葉卷煙草十三萬九千本價格九千二百二十七圓、刻煙草六百二貫匁價格六千九百三十二圓、板煙草一千本價格二十五圓、合計七百八十三萬四千本、六百二貫目、此價格總計五萬三千四百四十三圓にして之れを前年同期間の輸移入額に比すれば刻煙草に在りては二百六十二貫匁五千二十二圓を增加し、板煙草も亦初輸入なるも口付卷煙草に於ては八百八十七萬八千本三萬二千五百七十四圓、兩切卷煙草に於ては五千九百八十萬三十本十二萬一千六百三圓、葉卷煙草に在りては五萬三千本三千四百二十三圓の何れも激減を示せるを以て結局總價額に於て十五萬二千五百五十三圓の減少を見たり、這は畢竟朝鮮內に於ける紙卷煙草製造事業が累年著しき發展を來し生產品益々增進して外國品を壓倒せる結果に外ならざるも一面に於ては煙草需用者が漸次奢侈の風を脫し鮮內生產の安價品に滿足しつゝあるを示すものにして刻煙草輸出の如きも支那產業の安價品なるを思はゞ一層此事實の著しきを窺知し得可く要鮮煙草產業上極めて好現象を呈し居れりと

◎客月京城貿易

十月中の京城貿易狀況を聞くに輸移出總額十三萬五百四十五圓輸移入總額百卅三萬四千九百九十九圓にして今輸移出入の主なるものを掲ぐれば左の如し

■輸移出總額	一三〇、五四五圓
▲[illegible]類	七〇、八四〇
▲牛皮	一〇、五七六
▲煙草	五、七六二
■輸移入總額	一、三三四、九九九
▲小麥	一、三九一
▲果實	五、二九〇
▲鹽魚	三四五
▲砂糖及精糖	二八、〇二四
▲酒	二一、三六四
▲麥酒及葡萄酒	九六四
▲打綿	二一、九九四
▲綿織糸	一九、〇一一
▲生シーチング	一二七、一八八
▲晒木綿	一一、二八一
▲天つ立	一一、三三二
▲毛織物	二四、九七三
▲紙	五一、〇六八

●鑛業令行惱み 發布は會議前

朝鮮鑛業令案は大典以前に於て中央政府との交渉を了へ法制局の審議を經て發布の運びを見る可く總督府に於ては大塚第二課長を東上せしめ專心進捗を計り居れるが同案は關係する處極めて廣汎なるより所々に行き惱みを生じ未だ査了を得ず目下逐條審議中の模樣なるを以て大典以前に於て發布の運びを得るは至難なるものゝ如く從つて不日歸任の豫定なりし大塚課長も當分滯任の止むなきに至る可し但し同案は遲くとも議會開會前に於て發布を見るは疑を容れずと觀測さる

●會員連署進捗 意外に早く決定せん

京城商業會議所設置に關する發起人の連署は目下其準備委員の手に依りて連日各會員を訪ひ連署捺印の請求中なるが全會員六百名中より談合に依り三分の二以上の連署を必要とするものなるが既に三百人に近き連署を得たれば意外に早く其筋へ申請書提出するの運びに至る可き見込なりと

●定例長官會議

五日は定例長官會議當日なるより午前十時總督府第二會議室に開催、山縣政務總監以下國分司法部長官、中村、宮木長官代理、荻田、和田局長代理等參列し通常政務に就き打ち合はせの上正午散會したり

●水產主任會議

總督府にては十二月十三日より鮮內十二道水產技術主任者を召集し十八日まで六日間總督府會議室に於て水產技術主任會議を開催するに決し水產課にては目下諸般の準備中なり

●局長等の出發

村地、兒玉、關屋、鈴木の各局長は既記の如く五日午前八時三十分南大門驛發汽車にて京都に向へり、驛には土木局、學務局、總務局各職員、重なる實業家多數の見送人ありて非常の盛況なりき因に小松翰長も同刻出發の筈なりしが微恙の爲め延期となれり

●朝鮮貴族出發

子爵宋秉畯、子爵閔泳徽、男爵趙東潤の諸氏は五日午前八時三十分南大門驛發列車にて京都に向へるが同驛には親戚知友等多數の見送り人ありたり

●衛生係員慰勞宴

共進會々期京城の衛生界を刷新せんとして組織せられたる衛生會は共進會も無事終了して其任務を畢りたれば最早存置すべきの要を認めざるより立花衛生會總長は八日午後六時より右衛生會員の慰勞並に同會の解散式を兼ね警務係出品係をも招待して慰勞の饗宴を開くと

●釜山海員試驗

釜山に於て來る十一日より舉行す可き船舶職員試驗の受驗者は二十餘名なりと

◎第二艦隊乘組員宛の郵便

第二艦隊司令部、第二戰隊司令部、第四戰隊司令部及び軍艦鹿島、三笠、肥前、敷島、相模、周防、常磐宛郵便物は十一月五日迄に到着見込のものは神戸へ、其の後のものは大阪へ發送するを便利とす

朝刊と合せて八頁

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]
振替貯金口座京城三〇〇番

●支那輸入禁制品

大正二年二月滿鐵運輸部示達にて支那輸出入の禁制品請託品受託に付注意の件發布されしが其後右示達に依る注意の件は餘りに簡單に過ぎ之れが解釋上往々にして錯誤を生ずる事ありしにより此程滿鐵運輸部にては左記條項を示達せり

支那輸入禁制品及び之が輸入規則左記の通付屬東州外に於ては之に抵觸するものは運貨等拂扱として受託す可らざる儀と承知せらるべし

（イ）銃砲、刀、槍、火藥、砲彈、ニトログリセリン及ダイナマイト其の他の爆發物、彈筒、雷管、信管、氣球、飛行機等各種軍械及軍隊用品は北京政府陸軍部の許可を得るに非ざれば輸入することを得ず

（ロ）軍服、喇叭、太鼓、水平器、水筒、飯盒、洋式鞍具、望遠鏡、顯微鏡、天幕、測量其他は軍隊用にあらず且支那政府に賣渡すものに非ざることを稅關に申告するときは外國人に限り北京政府の許可なくして輸入する事を得

（ハ）汽罐用亞鉛板、亞鉛鐵、亞鉛、ピクリン酸、パン油（コトロ、ベンゾール）硝酸、石灰（硫黃、原鐵、鹽酸加里、硝石、智利硝石、爆藥の製造用或は工業用に供するもの）は一擔以內の少量に限り北京政府の許可なきも輸入することを得一擔以上は必ず北京政府の許可を要す

（ニ）護身用及び獵銃用銃砲、相當身分ある外人は護身用として拳銃一挺彈丁五百發、獵銃一挺彈丁五百發を携帶輸入することを得但し稅關に屆出べし

（ホ）內外國產阿片（土耳其、波斯、印度產）相當身分ある外國人は獵銃三挺及び彈丁三千發まで携帶輸入することを得但し自身携帶せずして輸入する際は自國領事館照會の證明を得之を稅關に提出すべし

滿洲に於ては何種の阿片たるを問はず輸入を禁ず嗎啡、モルヒネ、コカイン及皮下注射器並ノヴオカイン、ストヴアイン、ヘロイン、テバイン、ヘンジン、パンク（共にアヘン）ヤの製劑、カンナビス、インヂカ（印度大麻）阿片丁幾、チロダヤム及コデイン等にして阿片と同性質を有する藥品は輸入を禁止す

外國人開業醫外國人藥種商に限り醫藥用として少量のモルヒチ、コカインを輸入せんと欲するときは醫術開業證を稅關に提出すべしモルヒチ、コカインを含有する藥物丸は輸入することを得ず

（へ）印刷空白紙幣（中國銀行、交通銀行外國銀行發行の紙幣を除く）贋造錢及紙幣并銅錢、宋刻印刷錢）は輸入を禁止す

（ト）治安を妨害し風俗を壞亂すべき印刷物並繪畫は輸入を禁止す

（チ）食鹽 外國人に供給するを目的とする爲め外國食鹽は少量に限り輸入することを得殺入紙包の食鹽は之を輸入することを得ず若し專賣者許可を得るは少量に限り輸入することを得

（リ）鹽類 輸入を禁止す

（ヌ）地方銅元局用銅 十錢以上は財政部の許可を要す

（ル）東三省發行の小銀貨は他省に輸入することを得ず但し東三省銀行中國銀行及び交通銀行の證照を以て輸入し得

（チ）古錢 外國人の支那條約港に於て製造したる錢ナベは輸入を許さず

●支那帝國內閣

帝政後の臨時內閣組織の政府案は內閣の首班を總理とし之に協理二人を附し其他十部大臣を設け別に參謀、徵兵、國庫、督察四總監を內閣の下に置くに決定せるやにて其顏觸豫想は左の如きが海軍大臣候補者には殷復氏も數へられつゝあり（北京）

內閣總理	梁士詒	內閣協理	楊度
內閣協理	孫毓筠	陸軍大臣	王士珍
海軍大臣	劉冠雄	外交大臣	梁敦彥
內務大臣	朱啓鈐	司法大臣	王式通
敎育大臣	李家駒	交通大臣	楊士琦
財政大臣	張鎭芳	實業大臣	周自齊
[illegible]事務大臣	夏壽[illegible]		

●在留支人と帝政

支那帝政問題に對して我政府其他の延期勸告あるにも拘はらず北方の各省にては既に贊否の意志を投票に訴へつゝある折柄なるに京城在留支那人の多くは本問題をして問題と做し居らざる模樣なり然るに本問題に關しては政府は一片の形式上在外國民にも均しく帝政贊否の投票權を與へ過日京城華商總會に對しても立法院け上海の華商總會本部を經て帝政贊否の投票を行ふ可き旨通牒ありたるが華商總會にては一般在留者が本問題を顧みる者無き折柄なれば假令投票を行ふも何等の效力無きものと做し中止せりと

●帝政準備續行

日英露三國は今回支那に對し國體變更は內亂醸成の虞あるを以て愼重に考慮せんことを望むとの友誼的勸告を爲したるが支那政府は今や帝政問題に熱中し殆ど他を顧みる能はざる狀態にて國體變更後の重要事項につき既に左の準備をなせり（北京）

▲朝服の重改 國體變更後は更に禮法を改正すべく現在の大禮服は適用すべからざるを以て法制局にては中國の風にもあらず西洋の風にもあらざる祭天の禮服に似て但だ平天冠を用ゐざるものを朝服とすることに略定せり

▲新皇登極禮 國體變更後第一の重要は新皇登極の大禮なるが法制局にては略昭成り國體變更と共に直に公布すべき順序となり居れり

▲五爵定內容 施勳の儀に基づく五爵制度は既に內定し久しからずして公布せらるべく國體變更後第一次の貴功者は勳進及請願者中の有力者にして均しく公侯伯子男の何れかに封ぜらるべく就中軍界の人物最も多數を占むべき見込なり

▲登極の日割 新皇登極期日は種々の方面より豫定して十二月二日を以て最も吉なりとし之に內定せりと傳へらる

▲舊臣の待遇 國體變更後舊臣の待遇を如何にすべきかは中々の重大問題なるが大總統は親しく之が規定を爲し內史監に命を授けて起草せしめつゝあり

人事消息

▲中山勝之助氏（大邱覆審法院長）御大典參列の爲め五日夜釜山發上洛
▲岩本以明氏（釜山地方法院長）同上
▲道岡房太郎氏（釜山商業會議所會頭）同四日釜山發上洛
▲佐々木藤太郎氏（慶南道長官）同上
▲城數馬氏（京城覆審法院長）御大典參列の爲四日午後七時五十分南大門驛發上洛
▲國分象太郎氏（李王職事務官）同上
▲伊澤喜多男氏（前臺灣總督）五日午前九時十分南大門驛發安東へ
▲宋秉畯子、閔泳徽男、趙東潤男御大典參列の爲五日朝南大門發上洛
▲平井晴次郎氏（支那鐵道顧問法學博士）四日朝釜山發內地へ
▲井川治氏（軍經理部長）五日午後歸任
▲中村竹藏氏（京城覆審法院檢事長）御大禮參列の爲め六日午前八時三十分南大門驛發上洛
▲田中卯三郎氏（內務部事務官）元山水道視察の爲め七日京城出發
▲今野清氏（山林課技師）國有林事業豫定案協議に關する事務打合の爲め五日入京す
▲細見爲次郎氏（在東京總督府囑託）朝鮮銀行[illegible]の爲め七日京城道起陽郡へ出張
▲大橋次郎氏（赤愛幹事）御大典參列の爲め朝鮮赤愛會員斡旋の爲め四日上洛す

南言北語

外交辭令の婉曲な點に於ても支那は一枚上だ△今度の回答なども表面は頗る婉曲だが能く其の裏面を見ると却々強い意味の拒絕である△浮かと御最も千萬なんて引つ込んで居るとオヤ〳〵となるよ△支那は日本を警告の首謀者と見て居るから頻りに怨言を放つて居る△其の樣な事は何でも可いが日本が英、露、佛等に一致行動を取らしむる事は不可能だらうなんて傲語して居る△餘計なお世話だ其れなら其れでズン〳〵帝政を進めて見るが能いではないか△南支那には動亂など決して起らぬが外國や各國居留地は其の時には友邦の情誼で手をかして下さいとは巧い事を云つて居る△上海邊で亂動が起つて其れ南支那に動亂が起つたぢやないかと詰めかけると△イヤ彼れは兼て御助力をお願ひして置いた革命黨だから致方が御坐らぬ△貴君の方でもお願ひに盡力して呉れたなら動亂は起らなかつたのだらうに此奴は拙者に責任は御坐らぬと一本食はして逃げを張る位の事は支那の辛辣な外交ではやり兼ない△這迄氣を付けて居らぬと何時の間にか見事に投げられて其樣な筈ではなかつたと迂路〳〵しても間に合はぬ△鳥渡此の樣な事例も今迄あつたからナア△四日の閣議で決定した帝國の態度は今日か明日か小幡代理公使の手から支那政府に通せらるゝのであらうが△其う云ふお思召なら何とも申さぬ併し騷亂でもあらば考がありますだから支那の方でも御意見洵に御尤も多謝々々△騷亂は決して起きませぬから御安神あつて可然と來るに違いない△其う斯うする內上海邊から始まるとイヤ彼れは革命黨だでバタ〳〵の內に袁皇帝が出來る譯だらう

商業登記公告
京城電氣株式會社監查役西村道彥八任期滿了ノ處大正四年拾月貳拾貳日重任シタリ
右大正四年拾壹月壹日登記
京城地方法院

販賣廣告
今回京城電氣會社產出瓦斯コークス販賣引受候に付ては特に瓦斯製造所に於て吟味精選致す事と相成候へば御掛念なく多少に不係御用命の程伏て奉願上候
京城 京城府長谷川町五十八番地
京城電氣株式會社產出瓦斯コークス一手取扱所
南豊商會 電話一九三六番
委託販賣店 京城府南大門通り一丁目
泉商會石炭部 電話三九〇番
委託販賣店 京城府龍山元町四丁目
清水石炭店 電話五二八番

瀬戸 外科 皮膚科 醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

競賣廣告
一書畫骨董珍器類 數千點
右當社開催の共進會紀念即賣會に各地より集聚したる物品全部左記日時に成行競賣可仕候間御來社被下度候
一場所 京城競賣株式會社樓上
一日時 十一月六日正午より競賣
十一月五日
京城本町二丁目三番地
京城競賣株式會社

建築並各附帶請負
板葺 浪軒 ストーブ 煙筒器取調 掃除 受任
板樋 附川 進業
鉱力商 田中吉太郎
京城黃金町二丁目（電話二五四五番）
御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

料理の友
一冊廿錢（每月一回）
大日本料理研究會 東京芝區芝公園 電話芝四二三九 振替東京八八八
御大典記念號十一月號
◎本號は美麗なる彩色寫眞十數圖を挿入す
▲御大禮に就て……萩野博士 ▲家庭的最大の歡樂……伊坂梅雪
▲日本人に必要な大根の新研究 ▲東京のお誂へ……櫻田學士
▲國民の御大禮の祝賀會獻立
▲的なお客に二日分の御馳走 ▲さんまの料理九種
▲御大典の家庭內宴 ▲牛肉で出來る面白い日本料理五種 ▲家庭向西洋料理
▲大根の新料理法いろ〳〵 ▲實用的な西洋一品料理五種 ▲便利な料理法
▲美味しいお味噌の製法七種 ▲本菓子の拵方十五種 ▲美味しい惣菜十種 ▲漬物……

一九一六年度海外新聞雜誌豫約期
此戰爭はいつまで續く？ どうなる？ 日本が正に大に伸びんとする此一大時機に際し、海外新聞雜誌は政治經濟學術商工業各方面とも一齊に盡く奮つて購讀すべき也（見本店頭に陳列致候間御一覽被下度候）
改訂海外新聞雜誌目錄御照會次第送呈
東京日本橋通 大阪心齋橋筋 京都三條通 福岡上西町
丸善株式會社

最上醬油
絕對的品質本位
鮮滿醸造界唯一の名譽
大共進會に於て金牌受領
特許機械製 ほまれ味噌
醸造元 仁川港 日本醬油株式會社

大典前記

▲優美なる皇族方の衣紋

並に參列諸員の裝束と參殿の順序

十日の御即位式並に十四日の大嘗祭等御大禮に關する各御式の御時間は陛下御入洛の翌八日午前官報號外を以て大禮使より發表さる事となりたるが當日御參列あらせらる可き各皇族方の御裝束並に調度品は御入洛と同時に大禮使より各御旅館に御屆け申すべく愈々御參列の當日となれば大禮使所屬の衣紋方は各皇族御一方に二人宛の割にて御旅館に參り衣裳を御附け申す由なり

▲各皇族方の御裝束 は衣冠を用ゐられず束帶のみにて束帶は冬袍にて地は固織綾、地紋は各皇族の御紋を織出し本練本檳榔黑染張にて袴は表白地に窠霰浮織物裏は總て赤の平絹を用ゐ頗る優美なるものなり御裝束の相濟むと共に儀裝馬車にて御參殿皇族方控所に入らせられ御定刻に御參列あらせらるべき順序となり居れり

▲親勅任官以下參列 諸員は定刻までに建春門外第二朝集所に參殿規定の控所に入り御式を待つ順序となり居るも大禮使諸員は第二朝集所にて衣冠束帶に更むべく親任官の束帶は冬袍の地は固織綾にて紋輪なく唐草模樣にて本檳榔子染、裏は平絹にて表は本檳榔黑染、冬襲並に裾は固織綾、紋は浮線丸にて本練張の白、裏は固織綾にて紋横遣菱、腰紐は白の小柳綾、單は地が固織綾にて紋は横の繁菱、表袴は地は固織綾にて八つ藤の紋、裏は本練本紅染板引張、大口の地は平絹、半臂固織綾、紋は浮線に本練張の白、裏は固織綾に紋は横遣菱

▲勅任官の衣紋も之 と大差なく奏任官は冬袍は地が固織綾の唐草に淺蘇芳染、裏絹も同じく冬襲は地裏とも小柳綾に白平絹の腰紐、單は半堅糸本練緯糸紅織色、表袴は地が平絹本紅染に半臂は小柳綾本練白張、裏は小柳綾に紋は横遣菱、奴袴は地は無地綾本練本紫染張にて本練紫染張の裏を用ゐ判任官は冬袍は地が綾にて花田色、裏は平絹にて蘇芳色、冬襲は地が白の平絹に黑平絹の裏、白平絹の腰紐を用ゐ單は固織綾に紋は繁菱、表袴は白平絹に表に本紅染張の裏、大口、半臂、奴袴は

▲奏任官と大同小異 なるのみなるが當日一人の衣裳著けに約四十分を要すべく衣紋方は全部百二十名にて其中二十名は各皇族方の御用を承給はるべく殘り百名を二組に別ち朝集所内更衣所にて各自其の任務を盡す筈なるが一同は八日午前八時より朝集所に參集當日用ゐらるべき本衣裳に就て實地練習を行ふ筈なり（京都發信）

▲各國使節の旅館決定

何れも裝飾善美を盡す

▲村井長樂館 特派使節中の主席たる露國大使と次席たる伊國大使は特に離宮格にて最上の殊遇を與へらるべく平生より裝飾善美をつくせる村井別邸長樂館を其の旅館に充てらるゝことに決せるが村井家にては館の内外の設備に全力を盡くし椅子、長椅子、寢具、化粧具等は悉く新調のものを具へ庭園、溫突等にも黃菊、白菊、紅菊等大典に因める花卉を移植し額面、置物等にも内外の貴重品を配して善美華麗を盡すに努めたり、露國大使は書記官一名、陸海軍武官一名宛を伴うのみにて夫人を伴なはず、伊國大使は夫人を帶同し隨行の書記官も夫人を伴うべく結局露國四名、伊國四名宛なりと

▲商業會議所 英國大使は夫人の外參事官一名同夫人、海軍武官二名、陸軍武官一名都合一行七名に對し昨年新築の商業會議所を旅館に充つるに決し階上議員室及び役員室並に二個の應接室は大使夫妻の寢室應接室等に當て一帶に焦茶色の絨氈を布きつめオリーブ色花模樣の西陣緞子のカーテンも眼覺むるばかり六尺大の等身の姿鏡、刺繍屛等を適所に按排し霞ケ關離宮の御用品なりと云ふ結構華麗なる椅子、卓子を配置し壁間には荒木寛畝翁筆花鳥の一軸を掛け北側の食堂にも光琳筆四季の圖に六曲金屛風を運らし食器裝飾萬端善美を極めたり

▲京都ホテル 佛國大使外十四箇國の大使公使一行の旅館に充てられたる京都ホテルは新館樓上の客室は一室を寢室とし多くは夫人同伴の事とて一室に二臺の寢臺を据ゑ盛裝用の等身大の三方鏡を据ゑ付け額面は二見浦、嵐山、松島等の重に日本の景勝をものしたる洋畫大家の作になりたるもの西村總左衛門氏方にて意匠を凝らせる彩色刺繍額を按排して掲げ吃の又平其他故人の大家の筆に成る花鳥風景畫の金屛風を運らし、デスク上のインキ壺の如きも特に風雅なる陶器燒きの置物風に裝ひ之に隣りて應接室を設け其中間に浴室と便所の室を附屬せしむる等用意周到を極めたり、此の寢室、應接室、浴室の三室を一組とし一國使節に充ることゝし、新館樓上樓下の南北兩側に都合十室を設け普通に客室を設け庭園の四隅には千鳥光のアーク燈四個を付し館の棟にはイルミネーションをなすべく玉突臺も新調し正門は四間巾に取擴げ自動車と馬車と並行するも出入に差支へなきやうに設備したり（京都通信）

▲彩られた京都全市

奉祝門や飾屋臺や花電車

京都市の大禮奉祝設備は愈々御期日切迫と共に全市は見紛ふ許りの美觀を呈し來れり

▲奉祝門 京都市の玄關京都停車場前に建設し東北に面して幅二十間高さ十五間奥行七間左右兩柱共見付五間、見込七間とし柱内幅十間を通路とし兩袖には本徑八間半の丸形袖を付し之を三分して柱を建て兩柱に萬歳旛を謹書き頂上に擬及び橘の造花を飾付、正面中央に京都市の紋章を中心に左右鳳凰を向ひ合せとし門の下端天井は縦横十尺の格子組とし各鏡板に鳳凰を畫き表裏及び側面共に電燈裝飾を施せり

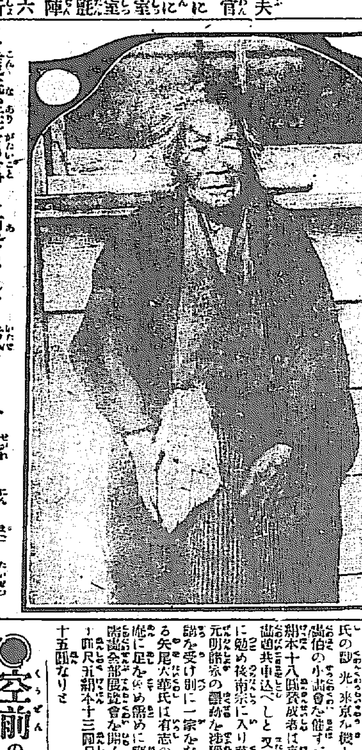
▲電柱裝飾 烏丸七條より丸太町通を左折して堺町御門に至ると寺町丸太町より丸太町通りを西へ二條離宮に至る御道筋とは悉く電柱裝飾を爲し普通電柱の上部のアームには金茶色を以て卷ける藍色細布を懸け各結付點には金茶色の造花を附しポールの頂上にはブリキ『ニッケル』鍍金の三ツ股鉾を樹て其柄は木製黑塗その前後に二對の萬歳旛を吊しアームの下部には圓形の本形を設け周圍に六本の國旗を周らし圓形木形の下部『ポール』の周圍は土臺樹迄細布を卷下げ所々を細形に結び結目に蝶形を附したり此の外四條烏丸、丸太町其他の交叉點電柱は特に意匠を凝らし四方に延びたるアーム及びポール全部を紋張りとし彩色を施こし其の頂上に電氣回轉燈二個を裝置して萬歳旛を附し周圍に四本の國旗を付し尚ほ丸太町烏丸の柱上には日輪を取付けられたり

▲花電車 悠紀標山、主基標山の飾屋臺、能車及び舞樂殿に因める花電車を出す事は既報の通にて此外に奉祝門にては御道筋七條より丸太町に至る烏丸通り寺町より二條離宮以前に至る丸太町通りの街路裝飾を施すべし

◎幸福な老婆

御大典に際して聖上陛下から木杯又は酒肴料を下賜さるべき京城府の高齢者中龍山の二村洞の漢江鐵橋監視人村上巳太の實母おのかさん（九十）を訪ふて見た、此家は巳太君の子息が四人とおのかさんと巳太君の六人暮しであるが此日は五人共不在でおのかさん一人が留守をして居た、記者が聖上陛下の難有お思召を話して聞かすと

『おのかさんは老いの身の涙脆く長命をした甲斐に這麼難有事に遭はして戴けます倅も四人の孫も大切にして來れるので私は何不自由なく暮して居ります』と話の最中巳太君の同僚の鐵橋監視人の廣瀨市之助君が來て、此話を聞き夫れは有り難い事だ、おのかさんの身體の丈夫な事には驚きますよ、眼は少し惡く耳も少し遠いが其他は何處一つ病むだ事なく九十の歳まで藥など服んだ事がないと云ふのです、人里遠く離れた此漢江の岸の一軒家に住みながら一家水入らずの六人が打ち揃うて樂しく暮らして居る樣は外から見る目も羨やましい位です



◎人工鮭が漁れ出した

二年前に孵化場で育た鮭の子 懷かしい德池江を溯つて來た

長白山脈に時雨が降つて滿山紅葉に染めなす今日此頃は咸鏡南北道の河川に夥しい鮭、鱒の漁れる頃である、殊に國境圖們江から元山附近の永興川、安邊川河口は昔から鮭漁を以て有名である、處が昨今元山地方から歸つた人の話によると今年は天然に育つた鮭の他に總督府水産課で經營する鮭人工孵化場出身の鮭が漁れ出して皆な悅んで居るといふ話、其の孵化場の設備はお馴染の共進會第二號館水産課にあつた模型で御承知の通りであるが先づ雌の腹から採つた黃色い鈴子の卵を集めてその上に雄の腹から採つた白子を注いでかけた上其の卵を水の流れる水槽中に入れ溫度や日光に注意した上孵化させるのであるが其の上一二寸位の魚となれば水槽から取出して附近一里許りなる德池江といふのに流すのである、すると此の小鮭は江を下つて元山附近の永興灣に流れ出て親鮭となり卵を産む頃になると又元の古巢を尋ねつゝ始めて放流された河に溯つて來るのである處で同孵化場では去る大正元年事業開始以來毎年二三百萬づゝの卵を孵化させて德池江に流してゐるが放流する時には鰭と尾の先を切つて目標を附けて放つ斯くして年々無限の海の幸を益々盛んにする計畫なるが今年は四年前の功果が現れて愈々孵化場から流した鮭が漁れ出したことはお芽出度いことである、殊に可愛らしいのは今から二年以前に孵化場で魚となり小供のまゝで德池江を流れた鮭の子が去る十月二十四日と二十六日の兩日に皆二尺許りの長さとなつて懷かしい德池江を溯つて來たと云ふ事でこれからは續々標識魚がだん／＼歸つて來ることだらうと當業者一同大悅びであるが鮭は孵化して四年位ゐで親鮭となるのださうな

◎京城の三畫伯

牛島の晩秋は殊に畫國として雅人墨客に歡迎せられ近來遠く内地より來遊する畫伯多く北宗の泰斗佐久間鐵園氏の如き老軀を驅つて親しく金剛山を探勝し歸來美術俱樂部の一室を借り熱心健腕を揮ひつゝあり同氏は嚢に當地に於て金剛山畫會開催の筈なりしも嚴寒冷に向ひ且つ老軀なるが故に近く東京に歸りて所記の金剛山風景を執筆すべしと因に同氏の金剛山風景畫揮毫の人は鮎貝氏まで申込まれたしと又た元讀川文鱗系の四條派より出で後故佐竹永湖翁に就き南北各合法を極め現に東京獨立繪畫會の中心たる畫伯北川介鶴氏の觀光來京を機とし斯道の好事家は近く同畫伯の小畫會を催すべしと尺五絹本十五圓尺八絹本十八圓發成者は京城ホテル中原鐵臣氏まで畫幅共申込べしと又美術學校時代より古畫研究に勉め後南宗に入り華山竹田等の爲人に私淑し元明諸家の畫跡を渉獵し石川鴻齋翁に漢詩論の講を受け別に一家をなし現時新派南畫の泰斗たる矢尾大華氏は有志の希望に占目下明治町春秋庵に足を停め需めに應じて揮毫中なるが近く懇話會部展覽會を開くべしと畫題は尺二絹本十圓尺五絹本十三圓尺八絹本十七圓二尺絹本二十五圓なりと

◎空前の大移出米

仁川港頭の壯觀

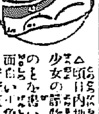
豫て報道し置たる大移出米四日早朝より艀船へ瀨取り始めたるか何分にも四萬餘叺の大口移出にて爲めに仁川港頭は頗ぶる壯觀を呈し居れり從來一時に藤本合資會社より三萬餘叺の大輸出したる事あるのみにて四萬餘叺の大移出は空前の事なりと

◎鮮人街の軒燈

共進會終了して急に京城市内は大風の後の如く寂寥となりたるより鍾路通り始め重なる鮮人市街にては寄々相談の上相當なる表店にては店頭彩色の爲め各自軒燈を設置すべく目下準備中也

◎盜んだは靴一足

咸南定平郡桃井里生れ金鐘九（二一）は一定の住所なく京城市内を徘徊し二三日前北米倉町雜貨商西谷某方家人の隙を窺ひ同家上り口にありたる白ズック短靴一足を窃取し太平町四丁目を通行中本町署の警官に取押へらる



△頃日内地で發行される少年少女の讀物や雜誌中に、朝鮮のことを書いたものが多いのは面白い現象だ△市中の商店では御大典に因むで白酒、黑酒の瓶入りを賣り出した、ビール瓶一本廿八錢とは高いか廉いか△共進會の賑ひに、多く忘れられたる郊外の秋色は、昨今正に闌なり、城内外のポプラの黃葉も、郊外の楓の紅なるも、とりどりに美しい△市中に平壤栗と、焼芋屋が増えた、所謂秋の氣分か△共進會場内の今日此の頃は、寄納品の引渡しと、殘務整理で多忙を極めてゐる、參考館出品の内地商人は六日の日に、大割引で殘品を賣り飛ばす筈△過般京城讀賣天狗の巧名談を記したところ、和田外科病院長の雉子五六十羽を斃たり……は、雉子十五六羽の間違ひで、何うかやめて吳れとの御申込である

石龍子先生 は當地有志者の懇請に依り歸京を延期し更らに來る七日迄觀相せらる

◎支那人理髮業者處罰

京城本町署にては府内居住の支那人理髮業者十數名は以前同署より衛生上取締の際内鮮人理髮業者同樣示達する所ありしも依然として何等の設備もなさず殊に不衛生なる爲め理髮客の迷惑尠からず依つて三日是等支那人理髮業者を本町署に召集し嚴重説諭し且つ一二名は處罰したり

京城明治町木村屋パンを知らぬ方ありや（京城市内食パン其他配達電話二六七〇番）

◎是からの食物

▲食物は春夏秋冬

の季節によつて自づから區別され又食物になる原料も變つて居ります併し世界各國皆さうだとは申されません此四季が明に別れて居るのは日本の中部で有りまして北海道や臺灣は番外となります、又歐米諸國も大方は暑寒の別に止るやうで御座いますから料理には物其自身が味を有つて居るのと他から人工的に付けたのと二種有りますが

▲日本の食物は 前者で歐米の食物は後者で有ると思はれます又原料となる海陸の品物も日本の如きは歐米の其に比して上位に有ります斯樣な譯ですから我々日本人殊に中部に住んで居る者は食物から種々の恩惠を蒙つて居ると申して差支へないのでございます秋去り

▲冬來る今日此頃 はどんな食物が口に合ふかと申しますと醍醐の要求は約り體溫を保持する爲めに暖かい時よりも少し鹽辛く且つ濃りしたものが適して居ります凡て右の意味に從つて料理をしたら間違は有りません、ハムライスは宜う御座いますがライスカレーは本場が印度で御坐いまして食べた後で熱を去り涼しく感ずるもの故冬には向きません饂飩は善いですけれど蕎麥は惡う御座います冬の代表料理は牛豚、野鳥の鍋類、魚類では鯛、平目、鰤、鯔、秋刀魚、野菜、芋、大根の類を成るべく濃く煮た物や雜炊餅、天麩羅等が宜しう御坐います

◎中島警部の送別會 京城本町署より慶尚北道晋州警察署長に轉任したる中島警部の爲め五日午後六時より大和町梅の家に於て京城市内各警察署總監部警務部等の諸氏より送別宴會を開催し出席者五十餘名ありて盛會なりし

◎天勝に感謝狀 共進會演藝館に出演その終最日まで滿員の盛況を呈けたる天勝に對し京城協贊會長名にてその成功と勞謝の意味にて感謝狀に銀盃一個を添へて贈れり

●青年會講演 六日夜七時半より本町三丁目淨土宗出教所にては大町寄場師の最後の要求久松鋼塔師の我が新天地の講演あり

●圖書館狀況 開館日數 九月中二十五日 十月中二十三日 閲覽人員 四百十二人 二百一人 閲覽室貸料〇五十錢 前記の圖書寄贈者は平田俊太郎、大[illegible]

●人力車々體檢査 は二日午前より三日[illegible]龍山警察署にて[illegible]

[illegible] 北西の風晴 十一月六日 [illegible]

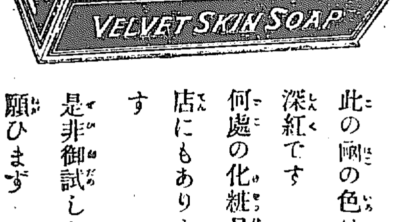
大阪 仕入案内
商工業者の羅針盤
仕入商人の好伴侶
第八年十一月號出づ
本號は御大典號なれば口繪寫眞増刷せり
▲明治汽車旅行案内 ▲大阪地圖添 ▲隔月一回發行
定價一部十五錢（郵税共） 一年分前金八十五錢（郵券代用一割増）
大阪市西區北堀江通四丁目 大阪仕入案内社 振替大阪四三六七番

最上干揚 新澤庵（拾六貫詰壺樽付） 金二圓（現金に限る）
右本日より（二千樽を限り）賣出し申候
始政五年共進會銀牌受領
漬物問屋 嶋屋本店漬物部 京城岡崎町
御用命の際は電話九〇三番二二〇番へ御申付被下候はゞ早速御屆け可申候也

謹告
京城青木堂事亡愚弟金次郎儀生前には四方樣より格別の御懇情を蒙り御蔭を以て業務日に増し隆盛に相向ひ候段厚く御禮申上候然るところ今般同人死去致候に付ては業務一切嗣子敏三繼承致從前の通り營業仕候も何分幼少の事に御座候間當分私後見仕り店務萬端御前に増し勉勵可仕候に付何卒一層御愛顧御引立の程偏に奉懇願候
大正四年十一月三日
東京青木堂 久保田金五郎

別染 印入手拭
御照會次第手拭の染見本呈上
大阪市東區南久太郎町四丁目 上村商店 振替口座東京一〇〇五六番

ベルベット石鹸



此の國の色は深紅です
何處の化粧品店にもあります
是非御試しを願ひます
製造元 日本リーバーブラザース株式會社
V3-B.

婦人科 産科 入院分娩應需
京城[illegible]町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院 電話二三四〇番

……は九月中の……十二人に比し實に百十一人の減少を來したるが之は共進會開期中なりしを以て甚しく其影響を蒙りたる者の如し九月に比較すれば左の如し

購入圖書	二冊	十九冊
同 雜誌	三冊	二冊
寄贈圖書	六十四冊	二十一冊
同 雜誌	八十七冊	三百五十二冊
同 新聞	十七種	二十種
閲覽料	四圓二十二錢	二圓

●鑛業講習卒業生 既報の如く鑛業講習所にては三日第二回卒業證書授與式を擧行したるが卒業生廿七名賞狀授與者は陳成玉、韓德壽、李大順なりし

●大邱兵營敷地公示

大邱兵營敷地所在に就ては去三日の本紙に逸早く報道せし處なるが尚ほ其詳細を記さんに兵營敷地及び衛戍病院等は一區域内に建築し敷地約四萬坪を要し釜山及び水源地街道に沿ひ從來鳳山洞の煙草耕作地として極めて坦々たる平野にして大邱警察署標木基點を距る約十八町の地點にあり將校官舍は大邱市との關係上稍市街に近き龜岩(畜墓地)の西南方を選定し警察署標木を距る約十町の地點にて練兵場及び射的場は琵瑟及び大德山麓に連り南北二十二三町東西約三十三四町餘總面積約二十萬坪に達す既報の如く測量隊は已に四日を以て基地標木を了したるが大邱旅團期成會は此日幹事及び委員と共に同所に至り地勢の實際を視察し了り大邱水道配水池の丘陵に於て祝盃を擧げたるが道廳より入澤第一部長、吉村第二部長、警務部よりは服部警務部長、大邱分遣所よりは大塲所長、府廳より前原水道技師、期成會よりは中江、伊藤、向坂の諸氏臨場交々談笑の裡に交渉の經過苦心談あり出席者十二分感謝の情に充たされ萬歳を三唱し歸宅せしは午後四時頃なりしが是に於て大邱兵營敷地は確定せりと謂ふも差支なく大邱府民熱誠の希望も成就されたれば此上は一日も早く敷地買收據金を纏めしむるにあり

●横斷航路と牛
今後盛んなる移出を見ん

横斷航路の初航として試みた敦賀城津間の生牛輸送は豫期以上の好成績を收めたので近々第二回の輸送を行ふ筈である、初航の移出は二百五十頭に過ぎなかつたが今後航海を重ぬるに從ひ

△漸次航路を延長 すると共に生牛の移出數をも增加するさうである北鮮牛の特質は朝鮮在來種の中南鮮地方の畜牛と其系統を異にし體格の如き南鮮牛の矮少なるに比し一般に肥大にして性質も極めて溫順且つ強健にして粗食に耐へ悉く耕農運輸に適するのみでなく持久力に富み肉用として其質亦佳良である、只僅に短所と認むべきは内地在來種と同樣外國種及び其の雜種に比し晩熟性である事だが、是れは漸次飼料其の他の改良に伴ひその缺陷を補ひ得べきは明白である、殊に咸鏡南北道及び江原道は地域頗る廣漠にして地勢は沿海一帶の平地と北部一圓の高地帶より成り一般に草に富み天然の牧草をなし氣候風土は最も牧畜に適してゐる、住民は天性家畜の飼養に長じ殊に

△愛牛の思想に富んでゐるので昔から畜牛業が盛んに行はれ、所謂北鮮牛として其の名を世に知られてゐる斯んな風だから北鮮牛の市價頗る低廉で有つた時代には浦鹽方面の需要の多くが北鮮牛を以て充され東朝鮮に於ける生牛輸出は却々旺盛を極めたものだ、其當時元山、城津、淸津方面から輸出は毎年一萬五千頭内外を下らなかつたが大正元年以後鮮牛の市價漸く高騰し他面浦鹽に於て山東省産牛の割安に輸入し得らるゝ事及び肉質の良好なること等認識せらるゝや漸次鮮牛の需要を減退し剩へ北鮮牛輸出取扱業者の倒産せしこと並に近年鮮地に於る農家經濟の有福なりしこと其他諸工業の勃興による役牛需要の增加等著しく牛價を騰貴せしめ遂に輸出不引合を來し爾來殆んど取引中絶の狀態に陷つたのである、然るに大正三年七月時局發生以來靑島方面に於ける海路交通の不安となるや浦鹽に於ける山東牛の輸入を閉塞し再び

△北鮮牛輸出を促 すに至つた、即ち大正三年の輸出額は海路及び陸境貿易を通じ一萬三百六十頭四十六萬七千三百四十六圓を算した、其後時局の推移すると共に蒙古西伯利亞及び靑島牛の移動を開始し檢疫關係、露貨崩落等の諸因發生して陸境貿易を除くの外海路輸出は再び閉止するに至つた、然れども浦鹽方面に於ける居牛の需要は年額七八萬頭を下らずと云へば需要の絶大なることを推して知るべしである、浦鹽では北鮮牛は主として軍隊に納付し罐詰用に供せられてゐる、北鮮牛の移出に就ては彼我兩地の官民が多大の希望を囑してゐたのであるから今後航海が頻繁となり盛んなる移出を見る事と爲つたらば漸次北鮮牛の聲價を高むるに至るであらう、敦賀、城津間の航路を西湖津、元山等に延長し直接敦賀へ移出するとせば現在よりも更に運賃を輕減する事が出來る譯である、兎に角横斷航路の開始と共に北鮮生牛の前途は益々有望である(元山)

越後大評定
第三十五席 早川貞水口演
笹岡の局の自害

笹『併し御城下で、金三郎樣と御夫婦になつて居れば、又後に如何なる艱難辛苦を致すやも知れませぬから今宵御城中を遁れたら、夜の明けぬ内に御二人にて、大阪へ出るなり京都へ行くなり、それとも江戸で御暮らしになるなり、縱令如何なる土地へ參らうとも、思ひ合ふ御方と夫婦になり、共に千代八千代の末かけて、交情よく御暮らし遊ばせ、然すれば私も心を盡した甲斐があると云ふもの、希うかお千代さん、今宵私が御助け致しますから、御父上三左衛門殿へ、宜く〳〵此事を御傳へ下さい』千『誠に御師匠さん、有り難い仕合せ、貴女の御蔭樣で、私は操を穢す所を助かりまして御坐います、御恩の程は決して忘れはいたしませぬ』と涙を流して御禮を申しました時に笹『サア氣を休めるが宜しう御坐います、此氣付けは、是は能く心を鎭める藥、一つ召し上れ』と、靈藥を取り出し、千代に與へる、萬事支度をさせ、夜の更けるのを相待つ内もう殿の御酒宴は撤け、それ〳〵御家來は我家へ立歸りましたから、夜の九時頃ほひ、千代を仲間姿に全然致し、そこで笹岡は御門へ出で笹『只今主君の急御用を以て、ちよつと外出いたしますから』上下とも通りの宜い、評判の笹岡殿であるから、門番も嬉に捲かれて、夜中の事ゆゑ其の仲間と心得、門『委細心得ました』と門を開けましたから、ズーッと出て大手前迄逃り出し、もう宜いと云ふ所で引返すと御門番が門『御供は如何いたしました』笹『往來で大怪我を致しましたから、御城下の御醫者の許へ預け、明朝引取ることに致しました』門『それは飛んだ事で御坐いました』其まゝズッと自分の長局の部屋へ來ると、萬事を認めましたのはそれとなく女だてらに失禮なれど、殿へ御異見同樣なる遺書を致し、三十九歳を一期として自殺いたしました、翌日に相成りまして、殿樣に於ては『未だ老女笹岡より、何の届も出でぬ、如何いたしたか、伴れ參れ』との仰せ、そこで御女中が來て見ると愕然いたして、此事を殿樣へ申上げる、千代の姿は見えぬと云ふ、イヤそれは大變と、御城中大騷ぎになりました、此方は千代、密に萬屋金兵衛方へ參りますと、既う夜が更けて居りますから、門が閉つて居る、門を叩き『御免なさい……御免なさい』と云ふ、萬屋方は、嫁のお千代が御城中へ昇ぎ込まれたと云ふので、御町奉行へ御下り覆るやうな騷ぎ、松屋、萬屋の兩家から嘆願いたしたが、御町奉行荻野孫左衛門、殿樣のなされた事だから何とも取計らひやうがない、何れ上の御沙汰を待てと、願書を握つたまゝ、此町奉行が計らひ惡いと云ふのは、萬一の事があると自分の身の上に關はる、今の殿樣の御亂心では滅多な事は出來ない、サア窮屈の……遠藤六兵衛は、御町奉行からは御沙汰もない、と法つて御城中に在る御嬢樣の御身の上を尋ねる術もない、何うして可いか只もう心を苦しめて居る、若旦那金三郎は千代の身の上に間違があれば、死んでしまふ等と云ふ、萬屋の御内儀さんは千代の身の上に萬一の事があれば、飾髮を卸して諸國へ出ると云ふ騷ぎ。

京城協贊會々選
和歌の部
共進會の月

一等 大平町一の三九 古武貞世
つどひ見るゆはずたなすゑ得し寶玉しく庭の秋の夜の月

二等 本町五の五一 前川きし子
あれはてし山と川よりうまれ出し共進會に月ぞさやけき

三等 櫻井町二の八八 吉岡富士人
月今宵鷄の林のひらけゆくしるしを君とめづるうれしさ

四等 仁義洞一三〇 垣田ふさを
大君のめぐみの露に咲き出でし千草の花に月ぞやどれる

五等 旭町二の一〇 川田文骨
いつとせの昔に月は變られど照らす民草露ひにけり

六等 黄金町二の九五 桐切角韻
五とせの政りごとみな民草の富めぞと思ふ望の夜の月

七等 黄金町三手腕館 加幸
いつとせのいさを偲ぶる此節月も嬉し今宵の月

八等 京畿府陸軍官舍二號 清居
いつとせのわざの進みを此に集めて見する望月の宵

九等 實業町一七七 西野一治
此歌は古里遠く離れ來て共進會の月を見るかなさん

十等 南米倉町二〇五 三原景
八百萬みちのすゝみはいつ年にひかり輝く今宵照月

俳句の部
共進會の月

一等(一人) 花園町三五 池部鶴彦
收穫れ瑞穗に月の玉散りて

二等(二人)
光熙町二の二四五 雲圃余晩 月天心營林廠の模型かな
本町二の一〇九 清本正夫 月秋のこの學治蹟を掌

三等(三人)
黄金町四の一八三 古林清太 金牌の人と上座の月見哉
大平通一の四六 若男 地下にすむ麗王語るや月の宴
南米倉町二〇五 三原景 月や今景福宮に湧く歡呼

四等(四人)
朝鮮銀行宿舍 山田水月 會場の月に賦さる裘衣かな
本町二の一〇九 清本正夫 鷄民の治下月歡を啻んにす
櫻井町一の八八 吉岡富士人 五風十雨饒國の民の月夜かな
大平通一の四六 若男 宮居せし樓に寶子の月の宴

五等(五人)
黄金町五丁目 今月 月澄し高し共共會の上
永樂町一の二 篠原湖東 月小に尖塔高し共進會
本町四の五九 關口和 一篇は日鮮人の月見かな
清溪洞二一七 大島至静 月今宵所ゆる新附の國の幸
漢江通六の七七 青木竹窗 名月や池畔古樓の齒に生きて

六等より九等迄はなし

十等(十二人)
漢江通六の七七 青木竹窗 月明けずして地上にあさる鴫の群
黄金町三丁目至誠館内 加幸 月清し共進會に人溢ちて
永樂町二の四九 山田愛剛 共進會月も雲を圍りけり
樓下洞二〇〇 劔舞秀 景福宮は半島の粹の月下なる
黄金町四の三〇一 佐藤北月 慶會に雲を包ぶ月見かな
開城大和町 石丸紅川 夜は霧ふ會塲更けぬ秋の月
旭町二の一〇 川田文骨 鮮人も月に誘ふや共進會
南米倉町二七九 島田才運 會塲や探照燈さし月白し
南山町三の二一 山田砂天 池の月圍を這ひ出る共進會
京城 [illegible] 月出でゝ見よ共進會の月夜なる
本町二丁目岡田商店内 時崎是竹 月出で探照燈の薄れ知る
暁友吉方 橋本林蛙 御殿[illegible]の共進會

商況

東京株式特電
未着

大阪株式特電
(五日前場)

銘柄	拂込額	四日後場止値	五日前場止値
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

諸株共に益々強硬の歩調を示し東京六十錢東新八十錢大株五十錢高北浜にも米株は二圓三十錢方上放れたり

大阪三品特電
(五日前場)

	寄付	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

朝鮮物産特電
[illegible]

雜報

●輕油益々昂騰 [illegible]

鮮方面に引合へ支那並に朝 [illegible]

燈油の建値勵行 [illegible]

●期米の高原因 [illegible]

●支那棉漸落 新棉以 [illegible]

十錢の低落約一圓五六 [illegible]

物の多き結果な 金融上投 [illegible]

●再製鹽需要旺盛 [illegible]

低落せし朝鮮鹽の價格 競爭的安値 [illegible]

●燐寸上惱み [illegible]

高値は賣れ惱み勝 先約品の關係 [illegible]

●浪板引續き昇騰 [illegible]

上ろ行ば二錢方の値 [illegible]

●綿糸氣迷ひ 平票の百〇八圓 [illegible]

●移出白米益好調 買注文に更に九十錢處 [illegible]

●冬帽子強硬 騰貴に二割以上 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目 電話 [illegible]

田中(金)仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話 [illegible]

各地商況
○釜山(四日の穀物) 正米 [illegible] 殆ど一割高 [illegible]

京城正米
[illegible]

南大門廻着米
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

仁川期米
五日前場 [illegible] 煎に新規に買物多く引際買物多 [illegible]

市場零聞
前場の大商戰 [illegible] 前場沸す [illegible]

仁川米豆取引所
五日の一月限

十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

△今後の成行 [illegible] 上岐 買人氣旺盛 反動相場を顯出 [illegible]

△遂に上岐れ 正米の買注文入込 [illegible]

△煎利喰の大混戰に [illegible]

北濱だより
△堂島米株 [illegible]

▽沖臺糖高し [illegible]

青物だより
[illegible]

演藝案内

壽座 電話五七八 明治町 十一月三日より每日正午時開演 浪花節芝居 東國助大一座 入商想道中龜山敵討

御成座 電話二九一 [illegible] 全八場

大正館 櫻井町 電話八七三番 十一月四日より新寫眞 [illegible]

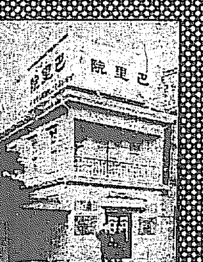
有樂館 本町一丁目 電話二六六 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 [illegible]

佐久良座 龍山 [illegible]

黄金館 龍光館 [illegible]

豫報 [illegible]



ルヰーズ嬢經營の巴里院

高貴御料

美顔白粉

●妾はナゼ美顔白粉を高貴方へお勧めしましたか

各宮家御用
女流美顔術大家　マリールウヰズ嬢　談

學者の創製したる美顔白粉といふ新聞廣告の始て妾の眼に止つたのは本月の三月頃でした。從來妾は、高貴方へは佛國製の白粉をお勸してゐましたが、歐洲戰亂の爲舶來品が思ふ樣に參りませず、殊には畏き邊より内國産御奬勵の御言葉も御在ましたので、其美顔白粉といふのを取寄せて調べて見ますと實に完全な白粉で、全く申分が在ませんでした。有繫に學者の創製した丈けあると感心して終ひましたので、其後は各宮家を始め華族方へは凡て美顔白粉をお勸致しましたのです。怎麼良い白粉を廣く世の婦人方へもお勸致すのは美顔術家の務でもあり、皆樣も定めてお喜び下さる事と存じましたので。妾の調べた美顔白粉の良い點を御參考までに掲げる事と致しました。今其れを極く簡單に箇條書に致しますと、

【一】色が特別白い事です……どんな白粉と比べて見ても美顔白粉ほど色の白い白粉はありません。

【二】美しい光澤がある事……美顔白粉には、他の白粉に見られない美しい光澤があります。

【三】ノリとノビに申分なく

【四】容易にハゲないので……襟を汚したり、白粉クヅレしたりする心配もなくお化粧が永く保ちます。

【五】皮膚の荒れないこと……これは中々困難なことで、大概の白粉は多少とも皮膚を荒す處のあるものですが美顔白粉には全く其心配がありません。此邊は餘程學者の苦心せられた事と思ます。

【六】絶對に無鉛なること……分析して見ましたが鉛分は微塵もありません。無鉛白粉と言つても少しは鉛の含まれてゐる白粉も隨分あるやうですが、美顔白粉には其れが絶對にありません。

【七】生地まで白くなる事……分析の結果美顔白粉には一種珍しい美容成分がある事を發見しましたが、此成分は白粉と共に働いて、顔の生地まで色を白くする作用のあることが分りました。

美顔術の天才　マリー嬢

今東京で美顔術の大家として雷名を轟かしてゐる日比谷巴里院長マリールウヰズ嬢は未だ佛蘭西公使館と言つた時分、其公使館附武官ルヰ大佐の愛嬢で、生粹の日本東京育ち、長じて本國佛蘭西へ行かれ、好める道の美顔術を、花の都の巴里に於て、世界に一つしか無い美顔術學校で修められ卒業後日本へ歸られてから、益々其術と學とを研鑽されたので、今では東京の各宮邸始め高貴の方々の美顔術とお化粧とは、何れも此天才的女流美顔術家の手を煩はされる程非常な御信任を博し、貴婦人方敬愛の中心となつて居られます。

名譽の美顔白粉を創製せる
桃谷研究試驗部
■顧問　丹波藥學博士　山本醫學博士
■専任　桃谷藥學士　小磯藥學士　齋藤藥學士

京城日報
第三版
年中無休刊
（第二千九百三十四號）
發行所 合資會社京城日報社

▲下關期米
▲五日後場（[illegible]）
寄付 一三、二五 一三、二八 一三、六二
高値 一三、〇五 一三、二八 一三、六五
安値 一三、六五 一三、〇 一三、四〇

▲深川在米
▲五日現在高
朝鮮米 一、七七七 割渡才 [illegible]
內地米 一、五〇三、七四一

▲後場の商戰
[illegible]

京城日報　米價問題

昨年以來米價下落甚だしく、農業經濟の困難言ふに勝へざるものあり。[illegible]を施行し今又米價調節調査委員會を開設して其調査研究に力むるを見る、其心を用ふる所知るべきなり。

我帝國政府の施行しだる米價調節令即ち買米買上政策に何程の効果を擧ち得たるや世間兎角の批評あることも、吾人は暫く此に之を云はず。又政府の調査委員會開設の成績に就ては、未だ之を批評すべき材料を有せざれども、大體より云はゞ、今日は米價下落の大勢を成し、假令買上政策若くは應急手段を施行するとも、容易く此大勢を左右す可くもあらず。由來經濟市場の大量商品なるものは、毎日毎月小波瀾大波瀾を成すの外に、二年三年に通ずる大潮流あり、更に之を大觀すれば、十八年若くは十五年を一期とする大潮流あり。金の騰貴時代、銀の下落時代等、皆十年十五年に渉り、銅の下落時代、騰貴時代亦三年五年に渉るを常とす。一般的物價騰貴時代あり。其長きは十五年二十年に渉り、其短きものも三年五年其外に一般的物價下落時代あり。其長きは十五年二十年に渉り、其短きものも三年五年を総ざれば回歸することとなし、此大潮流の動くに當りてや、如何に之を左右せんとするも復た得べからず。國家の力將た又トラストの力を以てするも、騰貴するものを下落せしめ、下落するものを騰貴せしめむとするも、偶ま失敗を招くに過ぎざることは、東西古今の經濟史上に明白なるところなり。此大勢を觀ることなく、經濟界の大原因を知らずして徒らに作爲する所あるも、斷じて其効果なかるべきなり。

顧みて米の如きは未だ世界的經濟市場の大量商品とは認められず、是れ米を產するの地が、歐羅巴若くは北米合衆國等世界的市場の外にあるが爲めなるも、其產出地方に於ける經濟機關未だ發暢せざるが爲めなりと云ふと雖も、若し其產出地の面積及び人口より云はゞ其廣大驚くべきものあり、我日本を起點として、支那印度諸地に及ぶあり、若し是等各地を通じて交通輸送機關、金融機關、及び取引所の設備を整ふるに至らば、米を中心とし基礎とする所の一大經濟圏自ら成り初めて世界經濟を動かすの大量商品となるべきなり然りと雖も、此事や之を遠き將來に望むべくして今日の現狀にては日本は日本、支那は支那、印度は印度と個々獨立して其經濟圏を形くり相接近するところの產米國民相調節するの道なく、偶ま調節を企るものあるも其効果殆ど見るべからず。且今日の米價下落なるものは、所謂一大潮流の作用にて、此大勢や一たび極まりて而して後に變ずべく、大勢一轉せざる限り、小術策は殆ど此に施すの地なし。而して此間に取るべきの途豈他あらむや。妙案奇策は徒らに失敗を招くべきのみ。只須らく經濟上の常經を尋ねて農業の生產費を減じ、農業金融機關、交通輸送及び倉庫諸機關を整備し、徐ろに大勢の我に利なるを待つの外なきなり。

功勞表彰（五）

水產　成鏡南道北青郡俗厚面　趙炳烈

北青郡は明太魚の主產地なるも資金缺乏の爲め地方漁民中には常に漁業經營の困難を訴ふるもの多きを憂ひ氏は夙に心を斯業の振興に傾注して明治二十五年より今日まで自ら沿海各浦に漁業資金を供給すること年々多きは一萬圓少きも五千圓を下らず此間敢て利殖を重んぜず而かも漁民の漁獲物は之れを買收して自家の漁獲物と共に處理販賣し、資金融通の圓滑を圖れるを以て漁民の多數は之が恩情に浴し本漁業の經營を容易ならしむるに至れり、又資性仁俠に富み鑿年明太魚不漁の爲め新昌、俗厚地方漁民の生活に困憊を來すや進で未だ償還を受けざる多額の漁業資金全部を消抹して多數漁民の生計を扶助し、又明治四十一年漁民子弟教育の爲め私立新興學校を起し且つ基本金として五百圓を義捐する等明太魚漁業の經營に關し其奬勵開發に貢獻すること多大にして朝鮮三大漁業の一として今日百五十萬圓の產額ある漁業地中北青郡地方最も主要の地位を持續するに至れるは同氏の篤行直接間接に與て力ありと謂はざる可からず、加之同人は明治四十一年新昌面事務所建築及び大正三年水害復舊に際し各金一百圓を義捐し、其他從來土木、教育、衛生等公共事業に對し屢次多額の寄附金を醵出せることあり、是を以て地方民衆の信頼厚く敬仰措かず、鮮人漁業者中稀に見るの篤志家にして其功勞甚だ顯著なり

教育　東京　大倉喜八郎

明治三十九年十月古稀の祝賀に際し公益の爲め金五十萬圓を醵出するや其內金二十萬圓を以て京城に商業學校を興さむとし、明治四十年三月財團法人私立善隣商業學校を創設して同年四月開校するに至る、爾來九星霜、其間卒業生を出すこと四百十三名の多きに達せり、是等卒業生は主として銀行會社に就職し實務上有用の人物となり社會に貢獻する所甚だ尠からず、往年尚ほ疑惧の念を抱くもの多き時に當り率然私貲を投じて半島の子弟を教育す可き機關を設けたるが如きは實に時勢に適應せる措置にして內鮮人子弟の商業教育上其効績極めて顯著なりとす

平安南道　窪田誠惠

明治三十九年四月朝鮮開發の爲め擧生の力を致すの覺悟を以て渡鮮し同七月聘に應じ順川郡假倉私立開明學校に就職す、其後同校は私立光明學校と改稱して新倉に移轉せしが私立學校の常として收入甚だ尠く經營頗る困難を極め、総督府觀察道郡面等より時々補助金を受けて僅に維持するを得たるも水害其他の災厄に罹り頓挫を來すこと一再ならざりき然れども此間常に不撓不屈の精神を以て能く校務を處理し實踐躬行、子弟を教導して倦まず率先して農園の實習家鑑の飼育樹苗の栽植及び堤防の修築に從事し、以て安逸遊惰の弊風を除去し、勤勞の習慣を養成するに努む。故に其薰陶を受けたる子弟は實に擲す可き温情を以て恩師を敬し同校出身者の多數は各自家庭にありて能く父祖の生業を守り郷國の父兄亦何れも深く信賴して措かず、其効績顯著なりとす

京城雜筆

山縣生

▲三日の朝刊に掲載されたる旭日苗老師の談話は流石に學德師と共に高き宗教家の口より出でたるものとて見識凡ならず、同情あり、雅量あり、多大の興味を以て再讀した、中にも老師が外國人に對する日本人の態度についての注意の如きは朝鮮在住の我國人が常に心得ておかねばならぬ所である

▲朝鮮人はもとより外國人に非ざれど、猶ほ其風俗習慣に於て內地人と違ふ所が少なくない、我等の目に彼等の風俗習慣の或ものが奇異に見ゆるとて、この爲めに彼等を輕侮する所あるべからず、同時に彼等の美風良俗を倘び、之を助長するに努めて苟くも輕佻淺薄の氣風を彼等の間に導き入るゝが如きは避けざる可らず

▲旭老師が朝鮮人に對して大に布教化を行ふとは僧侶の等しく考ふる所であると言はれたのは誠に人意を強くする、願はくば少壯有爲の僧の速に奮起して此貴き事業に當らんことを

▲猶ほ老師が病者には施藥し、貧者には食を與へ得るだけの餘裕が無ければ充分な事は出來難い、かくて貧者の子供を集めて衣食を與ふると共に、唯皆の道を敎へてやり、其傍ら如是我聞と一字づゝ敎へてやつてこそ初て眞の布敎が出來るといふものちやと語られたるは眞に達觀である

▲老師は布敎の資金の足らぬのを遺憾として居らるゝやうである、誠に同情に堪へぬ次第であるが、私に思ふに布敎資金の不足なるは一は一般の僧が薄志弱行にして學德共に足らず、世人の信賴薄きが故ではなからうか、若し昔しの日蓮上人蓮如上人の如き若くは近世のリヴインクストーンの如き人を愛する火の如く、道を傳へねば立つても坐つても居られぬといふやうな熱心にして眞面目なる宗敎家が出るならば、傳道資金の如きは求めずして自ら集るであらう

▲せめて朝鮮に於て內地の僧が外國の宣敎師の示しつゝある熱心の半分を示してくれたならば、佛敎は大に朝鮮人間に擴まるであらう、外國宣敎師は多大の不便不自由を忍びて如何なる山間僻地と雖も布敎の爲めには出かけて行く、招かれて行くに非ず、進んで開拓するのである、內地の僧で鮮人同樣の働きを爲しつゝある者があるか

▲佛敎といへば近頃高野山で僧の妻帶を否とせざる決議をしたさうで、佛法も末世になつたと嘆息して居る人もあるやうである、然し余を以て見ればこは寧ろ佛法の進步と見るべしである、生々繁殖は天則で、僧と雖も人間である限り、自然の性を抂げる必要はない、釋迦が戒められたるは邪淫であつて、邪淫の罪なるは常人でも同じ事である、正常なる結婚を爲し、子孫を繁殖するは正しき人の道である

▲妻帶肉食の禁制の如きは一の迷信である、基督教徒の或者が嚴格に日曜日を守ることを主張し、又は先祖の位牌を匿籠に捨つると同じやうに一の迷信である、達觀せる宗教家は斯の如き末節に拘泥すべからず

支那の回答に就て

某政治家の談

北京來電報によれば、支那政府は日英露三國の國體變更中止勸告に對して、一日帝政は民意に從ひ飽くまで遂行す可し、と正式に回答したさうである、斯く一言の下に折角の好意的勸告を刎ね附けられたる日本は申すまでもなく、英露兩國政府の威嚴にも關することゆゑ『さうで御坐るか、それならば御勝手になさるがよからう』と引込む譯には行くまい、若しコンな不誠實な一片の拒絶に會ふて、さうかと引込むようならば、初めから勸告などせぬ方がよい、內閣動搖の爲め三國と協同に支那政府に勸告することは能はざりし佛國に於ても、イヨ〳〵新內閣成立し首相ブリアン氏（兼外相）は、勿論東洋の平和と支那に於ける自國々民の利益保護の爲め、三國の公明正大なる態度に異論なければ、不日三國同樣の勸告をなす可しと云ひ、米國々務卿ランシング氏も、珍田大使に向ひ日本の勸告を以て友誼的のものにして公明正大の所爲なりと言ひたりと云へば、支那の國體變更は假令支那の內政問題なりとは謂へ、支那に利害關係を有する列强をして、皆な不安の念を懷かしめて居るのである、支那政府は帝政は民意に從ふて遂行するのであると云ふけれども、實際は民意でなく袁氏の意を迎合する少數阿附者の意向であつて彼等は權力兵力金力を用ゐ、多數反對者の言論行爲を壓制して、所謂民意を僞造したのである、故に袁氏が皇帝になつた當座は、其の威力によつて小康を裝ふこと出來ても、久しからずして所在に擾亂の勃發するは、鏡に懸けて見るよりも明かである、其の時になつて彼等に責任を負へと云ふた處がなんの役にも立たぬ、袁氏は帝冠を戴きたい野心の爲めに、又各省將軍其の他の大官等は袁氏の野心を助けて、成功の曉き其れ〳〵恩賞に與からんと云ふ私慾心より來たもので、彼等の眼中には國家もなければ國民もないのである、まして東洋の平和など云ふ觀念は、彼等の頭に針の孔ほどもないのである、支那人が斯う云ふ人種であると云ふことは、其の歷史を讀めば了解する事が出來る、斯樣な少數野心家の爲めに東洋の平和を犧牲にすることは到底帝國の默視すること能はざる所である、支那政府は如何なる態度を取るかは知らぬが帝國政府の拒絶に對して拱手傍觀出來兼ぬるけれども、決して指を喰へて引込むやうなことはないと吾輩は確信する（二日東京支局）

慘苦の白耳義

京城白國總領事館寄

五、農民の慘苦

一村落に於ける獨軍の暴行は某の寺僧の手記により明瞭なり『八月十八日火曜日なり午前九時頃なりき獨兵は蜂群の如く殺到せり。家屋の燒かるゝもの百九十戶、家を失ふ者一千人、故なくして兇手に斃るゝもの廿二に上る。マツケン、ローズの二人は生きながら土中に埋沒せられ、妻女は傍に之を目撃せしめらる。獨兵は來つて余を捕へ兩手を杖に縛し虐待至らざるなし、[illegible]は已に余が爲めに消けられたり。一人は銃つて余の頭を捕へ頻りに搖み耳を引く。一人は刀を以て四肢の切斷を擬す。彼等は余をして長時間日光を凝視せしめ、彼等は余と共に俘虜となせる鍛冶職の兩腕を縛り遂に死に至らしめぬ又或時は余を[illegible]炙らせる村長の居宅に入らしめ更に引出して斯くて一日を經へり。夕飯に至りて余をして寺院を眺めしめ今日の祝收めなるぞと[illegible]。而して[illegible]を以て亂打せられ、附近に[illegible]後不覺に打倒れ居たるに一士官來りて余を立たしめ退去を命ぜり。步む事數十尺彼等は余に銃を向けり。余は地上に倒れたる儘死を待てり。余は辛くて九死に一生を得たるなり。彼等は余を見捨て去るに當つて『白國々旗を[illegible]』何等の暴・何等の慘酷も之れ唯一の例に非ざるなり已に寺院を燒く、何ぞ寺僧を赦せんや、白國境を通過しパン村に入るや獨軍司令官怒號して曰く『吾人は寺僧を銃殺すべし。吾人は已に五名を殺せるに非ずや』と。即にナミユール教區のみに付ても牧師の殺さるゝもの廿六人に上れり。ルーヴアンの掠奪に際して宗教家の慘殺せらるゝもの其數を知らざるなり。市街を巡遊せられ、僧侶に逃亡せる者の如きも又やがては同じ運命を見たるなり。ルーヴアン大學教授ノエル僧正の如きも他の僧徒と共に捕虜に監禁せられたり。隣室にありては同選士官が時にルーヴアン市全僧徒殺害の計畫を話しつゝあるに非ずや。やがて彼等は僧徒を驅つて豚小屋に誘き監禁し、更代せしめたり。獄卒等罵詈に絶へず。僧侶は盡く衣服を脫剝せられ、財貨は悉く奪はれたり。[illegible]八十三の高齡を以て此の運命に投ぜられたり。[illegible]命を同うせるビユーケンの住僧は今日前其の村民の[illegible]を見て共に之に從はん事を請へるに敵は彼を捕へ砲身に縛付け想ふが儘に打損れりやがて放ちて地上を曳き顏面土砂にまみれぬ。住僧今は力も無く『我を殺せ、我を殺せ』と悲鳴す。嗚呼在天の神や[illegible]、我が國民と[illegible]聖徒の血に泣く叫び、何れの日か之を[illegible]。此の罪を犯せる者何れの日か罰せられん。（未完）

日報俳壇

雉子郎選

秋風

秋風や宦官となる子の眉目　樫黄子
秋風の屠者が力や稻動く　同
人を送る我が旅中や秋の風　同
悲しみを包む秋風の祝ひ事　同
秋風や我が顏映る兒の瞳　同
秋風や胃して祖父の號新た　同

名譽金牌受領記念大景品附賣出し

□御幸運の愛煙家には
「金側懷中時計」が當ります

賣出品名
□金剛　□壹圓
□しらぎ　□菊水
□カブト　□八島煙
□百圓　□スワン
□十圓　□神代

▲賣出期間　自大正四年十一月一日　至大正五年一月十五日
▲抽籤施行日　大正五年一月二十五日
▲景品引換期間　自大正五年一月廿五日　至同年二月末日

景品方法

右賣出品中何れの品にても一包中に各品名入の抽籤引換券一枚宛封入して有ますから左記枚數に達しますれば一枚の抽籤券と御引換を願ます今回の賣出は從來の方法とは其趣を異にし一ボール分に達して一枚の抽籤券を得られる故御忘れなき樣御注意を乞ふ

金剛 二十枚　しらぎ 二十枚　日本兜 四十枚
百圓 三十枚　十圓 四十枚　一圓 廿五枚
菊水 二十枚　八島 二十枚　スワン 五十枚
神代 二十枚

景品種目

□特等 二本 十八金側時計（ウオルサム會社製） 一個
□壹等 十七本 額面十五圓債券 一枚
□貳等 五十本 額面五圓債券 一枚
□參等 四百本 莫大小シャツ 一枚
□四等 七百本 卷煙草入 一個
□五等 千五百七十本 靴下 一足
□六等 二千四百本 西洋手拭 一本
□七等 三千三百本 金剛煙草 一包
□八等 五千五百本 しらぎ煙草 一包

合計 一萬三千九百三十九本

抽籤券は最寄御買付けの小賣店にて御引替被下度候

□御幸運の愛煙家には
「千五百圓の割增金付貯蓄債券」が當ります

京城　卷煙草製造元　廣江商會

▲帝政回答中の一節

辭令婉曲帝政の不得止を述ぶ 內政無干渉の聲明を感謝すと

外務省は四日午後七時帝政問題に關する支那政府回答の內容を公表せりその趣旨の大體は前電所報の如くなるも特に帝政主張及び拒絕に關する一節を掲ぐれば左の如し

本國國民に限らず帝政を主張する所以に至りては我邦の幅員は廣大にして五族各その風俗を異にし然る上敎育は浮薄にして民心變り易し又共和の元首は時に交替ありその都度莫大の亂端を啓く事あり、我邦は他國の近時を以て殷鑑となすべし然らずんば本國人の生命財產に危險多かるべきのみならず、各友邦の居留民の事業も亦安固を期し難し我民國成立して今や既に四年を經たり、然して股工鉅商け各種の事業に投資する事を躊躇し官吏の行政人民の營業は成長遠の計畫を立つる能はず、且つ人心不定にして治理に困難なり蓋し國民國體の改革を主張する理由も亦此れに基きたるものなり(中畧)今回貴國政府が友誼的勸告を爲し決して中國內政に干渉するに非る事を聲明せられたる厚意は本國政府の謝する所なり貴國政府の此の勸告あるは完全に東方の平和を維持するためにして本國政府の意見と範同じければ此の目的を達するため本國政府は全力を竭すべきなり貴國政府の深く信せられん事を冀望す貴國政府に以上各節を傳達せられんことを請ふ(東京特電)

▲眞意那邊に在り耶

帝政の經過は我與り知らず 勸告に對する確答を促がす

帝政延期の勸告に對する支那政府の回答は徒らに帝政運動に關する經過を詳叙したるのみにしてその眞意の那邊にあるかを知るに苦しむを以て石井外相は三日陸駐日公使に面會の際貴國政府の所謂民意なるもの丶傾向その他の事は帝國政府の知らんと欲する所に非らず唯支那が日本の勸告を容るゝや否やを簡單に返答されたしとの旨を聲明し同時に支那政府に之れを確むべき旨小幡公使に訓電を發し一方今後執るべき手段に就き英露佛政府と目下交渉中なりと某外交官は語れり(東京特電)

▲明確なる回答を要求す

小幡代理公使は四日午後外交部を訪ひ日本政府を代表し日本の勸告に對する支那政府の回答に一層明確なる說明を求めたり(北京特電)

◎佛國首相聲明 日本の協約加盟

佛國首相ブリアン氏は議會に於て聲明して曰く日本が單獨不媾和に就き聯合國側協約に加盟したる事は大に聯合國間の冥慮を興奮したり(倫敦電報)

◎露軍防禦堅固

露都公報に曰く露軍はドウキンスク附近において堅固に防禦した二高地を奪取して無數の捕虜を得、同時にコモロウオ近郊にて敵襲を擊退せりブツロウカ河を渡渉せる行軍は擊攘せられたり(倫敦電報)

◎ザ首相と議員

雅典來電首相ザイミス氏の辭表が國王の手許に達したる後議員は議場に於て前首相ヴェニゼロス氏の爲め示威的喝采の聲を擧げたり(東京特電)

◎十月正貨現在額

大藏省の調査に係る十月末日正貨現在額は昨年末より一億六千六百萬圓を增加し五億零七百萬圓となり內地に一億二千萬圓外國に三億八千七百萬圓存在し其內政府所有高は一億五千萬圓日本銀行所有高三億五千七百萬圓なりと(東京特電)

◎落合公使任命

牧原和蘭公使外務次官に轉任に付き五日左の通り任命あり(東京特電)

任特命全權公使(一等) 大使館參事官 從四位勳二等 落合謙太郎
和蘭國駐劄兼丁抹國駐劄被仰付

◎朝鮮參列員上洛

平壤覆審法院檢事長向井巖氏外朝鮮よりの御大典參列員五名五日午前九時五十分下關驛發列車にて上洛せり(門司特電)

東京發別電

▲塞國滅亡同然 無援包圍の裡にありし塞耳維は殆んど滅亡同然の悲境に在り聯合國も巴爾幹に於ける失敗を是認せり

▲英國民の安堵 英國首相アスキス氏は歐洲戰局の事實を告白し最後の勝利を確信すと述べたる結果國民漸く安堵す

▲敍勳調査書回附 內務省に於て調査中なりし御大禮關係功勞者五千名敍勳に關する調書は內閣に廻附せられたり

▲各宮殿下御西下 御大典御參列あらせらるゝ各宮同妃殿下には孰れも五日京都へ向け御西下遊ばされたり

雜報

◎東西南北への發展は 大和民族の使命(上)

朝鮮は北進の一路 志賀重昂氏談

六七年振りに朝鮮に來て半ば壞されてはゐたけれど共進會も一眄し山河の狀態も眺望して種々と感慨が湧く其內に予の特に感じた事は官吏の交迭が頻繁でない爲めによく民情に通じて施設其當を得產業の開發見るに足り然も其內

▲水利事業に注意 努力して其效果の頗る擧り居る事である然して結論に於て嘗てレブンオス氏が言つた樣に『日本は琉球の統治に於て殖民地統治の能力を有する事を證明し其島民に對する同化政策の成功は又轉て一歩進んで朝鮮統治に對する善き鑛を引かしめたものと見るべきである』の言を實現せしめた譯である日本の琉球統治島民同化に成功した理由元より一以て數ふべからざる事であるが奈良原縣知事が終始一貫十五年の長年月を刻苦經營に努めた爲に下僚亦交迭少く郡長の如き二十年も永續した者さへあつた樣に治者と被治者との間に間隙なき膠着が出來よく今日二百萬圓近くの利を母國に捧ぐるに至つた

▲最大因と稱すべき であると思ふ印度總督府が其部下に對する服務規程の如きは一に永續に重きを置いてゐる屬官は任命と同時に十五年間服務すべきものとせられてゐる無論不都合があれば追出しはするが自己の都合の爲めに中途罷官は不可能とせられてゐる其代り十五年勤務した者には非常な恩給を附してある其以上二十年三十年と永く延びれば延びる程恩給額の率を高めて只管に永續せさせん事を勸めてゐる此世の消息は大に考究すべき値がある其れが朝鮮總督府の官規を見るに特に印度總督府の其れの如き規程はないとしてもよく今日迄さして頻繁な交迭もなかつた事は大に

▲我が意を得た事 である若しも日本の樣に縣知事などが一年に一回平均位ゐに交迭してゐては治績も何もない譯だ其意味に於て朝鮮官規の見るべき處があり其結束として產業開發に顯著なものがあらはれるに到つたのである埃及の初め土耳古領であつた當時英國が保護領として統監を派出してゐた時代カーゾン卿が其本國政府への報告として最も重視し且誇としてゐた事はナイル河の水利事業であつたナイル河水利事業の成績奈何は直に埃及の產業開發成績程度奈何と云ふ結果になつて來る譯だからカーゾン卿ならずとも勢ひ其處に重を置かねばならなくなつて來るのは當然なのだ人も知る如く

▲ナイル河の水は 他の河川とは多少趣を異にして氾濫して引いた後は乾燥豐饒なのだ一望漠々たる白沙漠がナイル河水の氾濫の程度を明示してゐる最も明に之を見得るのはピラミッドだが河水の氾濫を受けた處と受けない處とで一方は黃く涸渇し一方は綠色に潤つてゐる此河川の利用は正に全埃及肥瘦の分る丶處なのである朝鮮は多少年數等に於ての差こそあれ一度榮えて後荒蕪した趣は非常によく埃及に似てゐる而して今日朝鮮に於ける產業開發の上に於て或は交通運輸の如き或は金融の如き原因一にして數ふべくもあらざる內に

▲水利事業が重大 要件である事は今更喋々するにも及ばぬ而も朝鮮の水利亦鮮からず予の意に適した處である臨益、論山、京畿道內の各所其他に於て見得る如く或は在來の溜池を利用し或は落差を利用し又はサイホンの學理を應用するが如き仰々に苦心の跡も窺知せられる是れ益々改良進步せしめて朝鮮開發に資すべきだと思ふ人動もすれば琉球は二百萬圓、臺灣は三千萬圓の純利を本國に致すに朝鮮は總督施政既に五年なるに尙數百萬圓の國庫支出を見る事を云々する尤も朝鮮總督府も五年の後には獨立した會計を有するに到るであらうが然し此樣な論者には

▲北海道を顧る事 を說いてやるがいゝ北海道が日本に領有せられたのは確か明治二年の頃であつたと思ふ領有既に五十年に近いのに現狀果して奈何

◎滿鐵の產業計畫

滿鐵產業部に於ては從來着手しつゝありし公主嶺熊岳城等の各試驗所は本年度に於て非常なる好成績を示し來る十二月を以て收穫の整理其他一段落を告ぐるに至るを以て更に來年度に於ては此の成績に鑑み計畫を立つる筈なるが差當り試驗場にては大豆高粱甜菜亞麻等の適否成績の結果に應じて之を各地に移植するの計畫を施し尙進んでは長春鐵嶺大石橋等の經理係に於て試作せしめつゝある試作場を擴張して試驗場と相俟ち滿洲農產改良に資せん方針なるが是が爲め公主嶺熊岳城の兩試驗場も各部に亙りて多少の擴張あるべく畜產部に於ては目下試育しつゝある羊の外更に豚の改良を計らん爲め各方面に向ひ種豚を註文しつゝありと(大連)

◎各地自動車營業成績の良否 現狀

一時全鮮各地に簇出せし自動車經營熱の勃興は今や漸く實行期に入り現在約三十箇所の區間に於て五十三臺の自動車を運轉せり其區間左の如し

京畿道 黃金町利川間、京城春川間、水原驪州間 忠淸北道 淸州忠州間、淸州鳥致院間、忠州淸州間、淸州美江間 忠淸南道 天安淸州間、公州論山間、公州鳥致院間、全羅北道 全州裡里間、全州南原間、全州金堤間 全羅南道 順天麗水間、光州松亭里間、慶尙北道 大邱浦項間、金泉尙州間 慶尙南道 晋州三千浦間 黃海道 海州沙里院間 平安南道 新安州价川間、新安州北院間、北院价川間、鎭南浦新興間、平壤市內 平安北道 新義州義州間 江原道 春川京城間

右の外自家用に屬するもの二十三臺あり而して今諸區間に於ける營業成績に就ては何等一定せる屆出制の設なきを以て詳細に知る能はずと雖も其の槪況を見るに最も好成績を收めつゝあるは淸州鳥致院間を以て最とすべく之に亞いで大邱浦項間海州沙里院間義州新義州間等稍々良好なるものゝ如く其他に至りては收支相償ふや否や疑問に屬し就中或區間の如きは全然失敗に歸しつゝあり以上の成績より推して今後を想ふに地方自動車の經營に就ては充分なる考慮を要すべきものありて一時の人氣に驅られ濫りに創業するが如きことあらば將來必ず悲觀すべきもの無きを保せず京城、春川間の如きは甞て出願者四五人の多きに達したるが開業の今日に至つては事像期に反し成績好良ならざるが如き寔に好一例と云ふべきか

◎大典と滿鮮行貨物中止

來る十日は御卽位式十四日は大嘗祭十六日は大饗祭第一日に相當するを以て其當日は門司及び釜山稅關共休廳するを以て八日午前九時半より十日午後三時迄十二日午前九時より十六日午後三時迄門司及び下の關に到著すべき貨物は荷取扱所に於て繼送不可能なるより右期間に當り貨目の運送は中止すべしと

◎遞信局印紙收入狀況

遞信局に於ける最近調査にかゝる收入印紙賣上高を聞くに九月末現在本年四月より同月末迄の收入累計は九十四萬一千六百八十一圓にして九月は十六萬七千五百七十八圓なりと而して前年度同月に對比すれば十六萬八千〇七十八圓なりしより五十圓の減收入にして又前年度同月迄の收入累計の八十九萬五千二百十三圓なりしより四萬六千四百六十八圓の增收なるが之を本年度九月の收入豫算十五萬五千二百九十一圓に對すれば一萬二千二百八十七圓の增收を示し又同月迄の收入豫算累計八十二萬六千六百零三圓に對しては十一萬四千七百七十八圓の增收なりと

◎長春陳列所開設

滿鐵會社にては今回長春附屬地內に商品陳列所を新設し去る一日より開所して商品の見本及び目錄の陳列並に商業上必要なる事項の說明、調査紹介等の業務を取扱ふことゝなりたるが當分の間商品見本の陳列には特に料金を徵收せず出品物其他陳列所に依賴する物品に對しては無賃にて輸送する由にて出品希望者は總て同陳列所に照會すべしと(長春)

下層の金融と質屋業

質屋は朝鮮が一番多い

京城に於ける質屋營業者に就いて此程京城日本人商業會議所に於て調査したる所に依れば、元來質屋業なるものは資產信用の點より自家の融通を銀行の如き高等なる金融機關に依賴する能はざる中流以下の社會階級にありては講會、質屋、高利貸等の機關を利用し或は窮迫せる一時的糊口の料を得又は辛うじて自家經營の資を之に得る者多く京城に於ける講會にして一箇年間の落札金額約百萬圓に達すると共に一方內地人のみの質屋經營者が一箇年に貸出したる金高は五十八萬九千餘圓の多きを算するを見ても此種の營業が下層の金融機關として如何に重要なる地位を占むるかを察知し得べし

■植民地と質營業 京城の如き新開の都市に於ける居住民は全國各地の集合團體にして相互の間に隱保的の交際關係疎く從て中產以下の階級に於ては窮迫の場合些少の資金すら之を他人に乞ふの便宜なく且つ生活を爲し居る者も一朝にして事業の蹉跌又は失職等の悲運に遭遇し資金の必要を感ずる時の如き場合には質屋に依賴するを最も便利とし又一部特種階級にては窮乏の際質屋を利用す可き豫想の下に收入の多き時に當りて衣類、金屬、寶石等を購入し置く者さへ尠からざるなり而して入質物としては最も普通なるは衣類、金屬、時計、寶石類、身邊の裝飾品、書畫、骨董、書籍、家財、諸器等にして容積の小にして攜帶に便、且高價なるものより先にせられ入質の最も多きは年末並に月末の資金窮乏せる時とし一月二月之れに次ぎ五月九月等の更衣期に於ても亦繁忙なり

■質置人の種別 如斯質屋業は中流以下の階級に必須の金融機關なるが故に其經營に就ては當局の嚴重なる取締を要するを以て遂に總督府にては制令を以て取締規則を設けられたる次第也今京城市內の同業者最近の狀態に就て之を見るに

	口數	金高
貸出	一三九、六五八	五八九、四三九
受戾	一二七、四〇三	五一〇、六三九
流質	二六、五九四	八一、四二〇

等にして內地人質業者は昨年末の調査にて其數七十五戶を算し市內の內地人全戶數に對する平均割合は二百十三戶に付て質屋一戶と云ふ多數を示し居れり更に各戶一口の平均金高を見る時は貸出四圓二十二錢一厘受戾四圓三十四錢九厘流質三圓六錢二厘にして受戾一口平均高と流質一口平均高との間に大なる差あるは比較的高價なる質置主は受戾能力多きも價格の小なる質置主間に於て其能力少なきを示し居れり

人事消息

▲檜垣直右氏(京畿道長官) 御大典參列の爲め藤澤道書記を隨へ六日朝出發京都に向ふ

▲有賀光豐氏(京畿道第一部長) 同上

▲尾形多賀雄氏(太田聯隊長陸軍大佐) 五日入京世城館へ

▲バーテー氏(米國實業家) 五日入京朝鮮ホテルに投宿

◎正誤 五日朝刊『功勞表彰』の欄に國領家四村越太郎とあるは四時の誤植に付き訂正

東西南北

▲砲彈三百萬發 露國から註文された砲彈は三百萬發だけれども…に之を千圓平均としても三十億圓一發百圓平均としても三億圓である…がみえても約二週間の戰爭が出來るだけである今度の戰爭の慘劇が想ひ…

…經た位の大きな體格でおまけに脊一面に長さ三十…

…調べの結果同市鶴橋町山…熟睡中を鋭利なる小刀にて縊りの黑髮を切斷されグルぐ~坊主にされた…

▲校長の妻 福岡縣山門郡三橋村大字江田二八五番地同郡東山村水上尋常…本村大郎(三二)同村日稼業山本良平(三…)…佐渡郡赤泊村の生れなる步兵第十六…で告訴さる

▲演習中の自殺 岡山縣…

非常の賣れ行 忽ち三版發行

大正五年御壽寶 大正五年農家曆

何人も明年の開運法は本書に依て決せよ

御壽寶は農作及人々運氣吉凶年中必要事項 農家曆は天文氣候農事諸相場年中必要事項網羅

一冊定價金十五錢 郵稅二錢

特約販賣人募集 同上に照會あれ 發賣所割引

東京本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

新日本 御卽位記念 大正聖代号

◎皇國大禮史

口繪 天皇陛下(三色版) 紫宸殿御式(石版十四) 大嘗宮御儀(同) 聖上の御眞筆を始め淸新貴重の繪畫寫眞數十本文口貢

○上代及奈良朝の御大禮……和田英松
○平安朝の大禮衣祀……萩野博士
○鎌倉時代の御大禮……三浦博士
○戰國時代の御大禮……渡邊世祐
○德川時代の御大禮……和田英松
○明治天皇の御大禮……關根博士

▼京都市鳥瞰圖 片山春帆 ▼御東幣明治天皇並に昭憲皇太后尊影 ▼主基齋田の御田植

○諸名家奉祝詩歌書畫 二條公爵○三島中洲博士○入江子爵○小牧昌業氏(以上著色石版)杉溪男爵○中村不折先生○高島北海先生等

○大禮と文學……雜司谷人
▲今上陛下御乾德錄……記者
○大禮に際して……男爵加藤博士
○現代の交通運業と海運……箕浦遞相
▼大正世相觀 松崎天民 ■大正未來記 岡本一平
▼御大典と神宮並前朝四帝の山陵……相馬由也
○現代教育の精神……高田文相

御大禮眞義 大隈伯爵

◎大正文明史

○大正年間に於ける我が外交……長岡博士
○受動的日本より發動的日本へ……永井柳太郎
○大正以後の財政……田中博士
○大正の政變と國民敎育……浮田博士
○大正以來の我植民地槪觀……松岡博士
○新領地に對する國民の覺悟……山本助教授
○大正の海陸運界……伊藤重治郎
○大正工業界の槪觀……阪田博士
○新日本の水產業……下啓助
○本邦米作の過去及將來……安藤學士
○大正年間の教育界……吉田博士
○大正の文藝界概觀……生田長江
○大正の美術界諸問題……澤村學士
○大正日本の心靈界……內ケ崎教授
○大正の社會問題……河田博士
○明治より大正に至る婦人問題……平塚明子
○大正の新聞雜誌界……建部博士
○大正の經濟金融槪觀……津村博士
○大正の演劇……楠山正雄
○大正の感想……高須梅溪
○大正の政界の新進……杉中種吉
○大正青年の進路……新渡戶博士
○大正野放錄……鳥羽月山
○大正略人傳……山口孤劍

○御卽位記念事業としての馬匹改良……藤波子爵
▼大正の角力界……三木愛花 ▼大正美人傳……時雨女史
○世界的雄飛時代……尾崎法相

十一月一日發行 定價本號限六十錢 稅五錢 普通號共十八錢 三冊前金八十二錢 六冊同上一圓六十五錢

東京神田 富山房 振替五〇一番

最新實用 ペン習字法及手本

三浦浩東書並編 ●洋裝美本●定價金八十錢●送料金八錢

時代の要求

楷行草假名交り文年始文案書文、書簡文、和歌、書法、連書法、略字、草書集 ペンは既に毛筆を凌駕し今や日常生活に必須の實用的文字となり毛筆は早や悠長迂遠なりとして實用に遠ざけられ社會各方面は皆ペン能筆家を求むる事日一日より緊切なるに至れり然るに現代のペン習字書は著者十數年の心血を注ぎ研究完成其技倆熟し茲に初て公にしたる物にして手本は實に清楚流麗其運筆快なる筆致は到底毛筆に於て見る能はず習字法亦適切有益にして斯學に志す者は勿論其職の何たるを問はず現代人の必讀必修すべき良書なり

發行所 東京四谷本村町三二 電話番町三三〇

迎ふとしても六百列車であると云ふ之を金融にすると巨砲の彈丸は一發の價三千圓もすると云ふけれども假と云ふと戰爭の最も激しい時は一方の軍から一日に卅萬發四十萬發の彈丸を打つたと云ふから三百萬發の彈丸

勝田郡川邊村平民坑夫寺元淸吉(四一)の內縁の妻武石ひで(三四)が此の頃産み落した女の子は生後既に一箇月を……容が來て一圓六七十錢も飲み食てたが例に依つて懐中無一文、所轄玉……生なるが此程同……殺したる……密なる酒造業某の娘に夜中……ものなりとは呆れた代物なり▲小……艶かしきを羨やみ居れると同時に嫉妬の念を起し斯かる暴擧に出でたる……りしを窺ひ用意せる古木綿に石油を注ぎ放火して捕はる▲嫉妬の四人組 德島縣板野郡……村大字中原字農杉……新吉(二……)が中原……の方北字道路を通行せるを認め他村へ女を漁りに來たものと思ひ嫉妬の結果散々新吉を毆打し歸中に突込ん……發砲して自殺した

◉名譽の高齢者 尚ほ再調査中

京畿道内に於て今回天盃及び酒肴料の御下賜を受く可き名譽の高齢者總數は八十歳以上二千九百九十八人、九十歳以上二百二十七人百歳以上六人にして内京城六百六十二人仁川三十二人なるが此調査に就ては當局に於ても非常に苦心せるものにて內地人の如きは比較的調査容易なれども朝鮮人にありては民籍の制不完全なるため民籍上に現れたる當人と實際の年齡とは多大の相違を見るもの或は民籍上には生存し居るも既に死亡したるもの等其眞偽を審にすること頗る困難なるものありて現在調査し得たる所のものも警察又は憲兵隊等の手を經て調査せるものなれども尚ほ中には正鵠を失し居れるものなきを保せざる次第なり併しながら如斯絶好の機會に於て切角の思召に漏るゝ者の不幸は更なり若し誤つて無資格者に傳ふるが如きことありては甚だ遺憾の至りなればとて道に於ても極めて慎重なる方法を以て再調査を行はるゝこととなり六日より道廳員及び府書記附添ひ實地に就き嚴密なる調査を行ふこととなりたり而して今回御下賜の天盃にして京畿道への分は四日總督府へ到着したれば其傳達式は十日午前道宣化堂にて京城府の分を其他の府郡は十四日迄に各々の府郡又は面より傳達する筈なりと

◉行幸前の東京市中 八百八街大殷賑

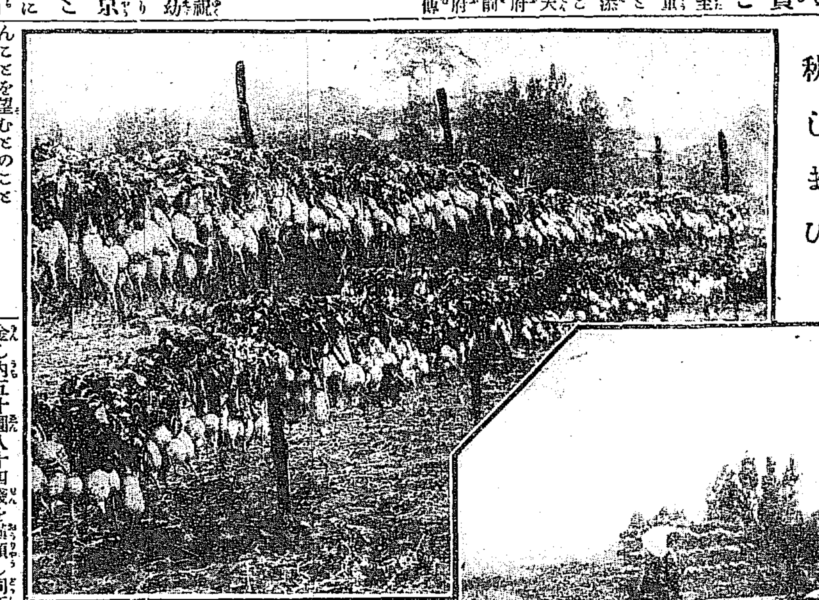
天皇陛下京都行幸前日の市中は奉祝準備に忙殺され頗る雜沓を極め老幼相携へて折柄の小春日和に早朝より御道筋なる馬場先門と東京驛を往き交ふ者絡繹として織るが如し馬場先門に設けられたる萬歳門には黄菊白菊の香高く五色の彩旗翩翻として小春風に搖ろぎ東京驛の大廣場なる奉祝門の裝飾壯麗にして人目を眩せんばかりなり又大通りは各町競うて意匠を凝らせる門飾りを爲し殊に京橋橋畔なる大根河岸の積樽には紫に白く大根河岸と染め抜きたる幔幕を張り廻らし日本橋の奉祝門亦漸く竣工を告げ偉觀壯觀市內第一の稱あり又道路の兩側には杉に春日燈籠を配し注連繩を張り詰めたる裝飾は神代の昔を偲ばしむその他八百八街悉く美を爭ひ妍を競ひ都人士は宛も醉へるが如し（東京特電）

◉奉祝次第 仁川に於ける

仁川府に於ては十日御大典の奉祝方法として御大禮中（本月十日より十七日迄）は各自の邸内を清潔に掃除し且つ其門戸に注連繩を張り國旗を掲げ一定の提灯を吊し奉祝の意を表すこと(二)御大禮當日（本月十日）は午後三時二十五分第一號砲の響くを待つて各戸一同戸外に出で同三時三十分第二號砲を合圖に一同東方を拜して萬歳を三唱すること但し相當の禮裝のこと(三)御大禮奉祝の爲め十一月十七日午後三時を期し仁川東公園に於て官民合同奉祝の宴を開催するに依り左の事項に依つて出席せんことを望むとのこと

(イ)奉祝の宴に參列希望の向きは來る十四日までに會費金三十五錢を添へ仁川商業會議所に申込む參列者には徽章及び入場券を交付す(ロ)參列者は相當の禮裝(男子は燕尾服又はフロックコート或は羽織袴女子は紋服)にして徽章を右胸部に佩ふる事

尚ほ同日雨天の場合には八坂樓を以て會場となし市中の裝飾は各町の思ひ〳〵に任せ十六、十七の兩日は不敬に當らぬ範圍に於て餘興を催さ



秋じまひ

◉英帝御病狀 御疼痛は筋肉掀衝

其筋より聞知したる所によれば英國皇帝は非常に神經を刺戟せられ打撲傷の疼痛甚だしきも内臟の故障又は骨の挫折せる徴候無し但し今尚ほ病床に引籠り居らるゝは全く筋肉の掀衝し居るためなりと（倫敦電報）

◉集金人の横領 四人で二百圓

仁川府龍里金彌鉉(三五)は大正三年一月より大正四年三月迄龍里李根成外三十四名より集金したる給水料金二百二十六圓五十五錢の內百十七圓七十八錢を横領費消し又同所の李般雨(五四)も給水料九十四圓六十九錢を集金し內五十圓八十四錢を横領し同所金俊明も十五圓の集金中十三圓を費消し同所姜泰玉も三十九圓の給水料集金中十五圓を横領費消し何れも十月廿六日其筋に引致され目下取調中

◉參考品大放賣

共進會の參考館に出品したる內地生産品の出品物は六、七日の兩日二三割位の大割引にて賣出すことゝなりたれば希望者は景福宮東側の建春門より出入すべしと

◉須磨子佐久良座に現はれん 一行六日朝著釜

島村抱月氏松井須磨子の藝術座一行は五日夜下の關發釜山に向ふ筈なるが京城に於いては思はしき興行場所なきため龍山佐久良座に新設備を加へ同座に於て開演するに至るべし

◉微罪多し

昨今警察犯處罰令に依る輕微なる犯罪者尠なからず京城本町署管内に於て警官に現認告發せられて科料或は拘留處分に處せられたるもの一日多きは三十件少くとも七八件平均十四五件位あり是は啻に警察の手を煩はすのみならず處分を受くる者も不面目の至りにて些少の注意を拂ふときは何等處罰さるゝ所なきものなり違反の中最も多きは馬車自轉車或は荷車等を雜踏の激しき路上に放置するが如き通行妨害に關するものにて其他夜間無燈火の馬車自轉車或は警鈴なき自轉車に乘り廻るもの其他無賴の浮浪者等なる由殊に彼等は警官の現認して制止するをも聽かず所謂確著より來るものも尠からずといふ

◉浮浪二人組

仁川府外里賓商號とし方に去月一日突然怪しの男飛び込み臂を捲くつて凄文句を列べて立去りたるが此奴原籍鹿兒島縣鹿兒島市山口町有馬美純(三五)と同縣下住所不定の者にて以前奴亭にて宿泊料十二錢を踏み倒し猶島野田氏の留守宅にて十錢を強請したることあり同類の川端銀太郎、梯信太郎の兩人も仁川府を徘徊し居たるが何れも捕はれ何れも拘留十日に處せらる

◉海員の成れの果

仁川府浩町二丁目廣島屋方止宿原籍廣島縣御調郡美之鄕村字三成佐原種松(三一)は二年前より海員となり居たるが八月二十一日營口に於て乘込船阿蘇山丸に乘り遲れ脚氣病に侵され流れ流れて仁川迄來り宿泊料も拂へず其筋に嘆願し國元より旅費の送附を求めたるに實兄尾之道市久保町山田種吉は貧苦にて送金出來ず尚ほ養父佐原乘次郎も同人の無斷家出に愛想を盡かし送金出來ずとのことに其筋にては行路病人として取扱へり

◉拾つた三十圓

鍾路警察署に一日現金三十圓を拾得して屆出でしものあり心當りの者は同署に就き照合すべしと

◉水溜で極樂往生

京畿道始興郡東面禿山里五統六韓順禮(四六)といふ女は二日午後一時ころ自宅より約十町程離れたる田に家人が稻刈に行き居る所に晝食を持ち行きて歸途田端の水溜りに投身して自殺を遂げたり同人は赤貧の上實子なく常に悲觀し居たる由にて多分其爲めならんと永登浦署より警官出張檢視の上屍體は家人に引渡す

◉破廉恥犯控訴棄却

大阪市西區北堀江通四丁目四番地當時京城太平町二丁目九十四番地雜貨商松岡眞三郎(三〇)は本年八月六日午前十一時頃知合ひなる南大門通五丁目の某雜貨商方に赴きたる際同家女房の姪に當る十才の少女が一人留守居中を捕へ怪しかる振舞に及びたる一件は京城地方法院に於て十一月二日原裁判長石村熊島兩判事陪席水野檢事立合闔部書記等の係りにて懲役八箇月の判決となりたるを被告は之れを不當とし覆審法院に控訴したるも棄却されたり

◉電車の怪我

四日午後九時頃東大門電車が鍾路通り大廟前を進行中車掌の制止するをも肯かず飛降りをなして左頭部を打撲したる男あり同人は京城薰井洞六十四番地韓承信(二二)にて手當を施し目下加療中

◉古物商のお灸

仁川府仲町三丁目四番地古物商熊野御堂利松(四五)は先頃古品商貴籍男物袷一枚鈴木八十吉に賣渡したるも買人の住所を記入し居らざりし爲め古物商取締規則違反にて四日五圓の科料に處せられたり

◉天勝一行乘込

天勝一行は四日仁川著の上天勝外七名は仁川旅館に他の三十餘名は筑前旅館に宿泊五日より仁川歌舞伎座に於て出演

▲支那料理 魚の切身を鍋に入れ……生姜を細長く切つて入れ……大根を輪切として鍋に入れ味噌をすりて入れ醬油と水少し入れて煮るのです

■惡風譚

若し旦那！先日拜見さして頂きました鐵齋の七福神に小竹の書贊――イヤ竹洞の……オットあのそれ何でしたか四條派の大家の……彼れをそのツイ得意先きで口が滑りました處が是非賣つて呉れ、何五十圓に三十五圓は實に格安と申されまして……へイ……決してその旦那は千兩にかなつてもお拂ひにはならぬとその、イヤ決して旦那のお名前などオクビにも出しては居りませんが兎に角一寸で宜しいから持て來い、オット拜ませて呉れと迄ての賴みで……ヘイヘイ……、斯くして所謂好者の愛玩なるものが擬商的の口錢取の手に渡つたが最後直高利貸や質屋の庫に籠城も賣物も能はぬは尚しも一廉の紳士と云はるゝ者が豈夫出入の幇間商人を告訴もされずと齒を咬ひしめて眞の五圓か七圓の表裝だけの品を二度三度に身代りに取つて泣き寢入りの晁となるも多いとは嘘のやうな實際の咄し

共進會の閉會式の日の本紙に出た吉原協贊會長のニコ〳〵顔は何時見ても苦蟲を噛み潰した樣な總裁としては頗る珍しい事であるといふので大評判だつた▲ところが或る日の事總裁に會つた或る無遠慮な男があの寫眞は大へん御機嫌の樣でしたがホントに可笑しかつたのですかといふ奇問を發した▲すると總裁ニヤリと笑つて別に笑はふと思つたわけではないが僕の笑つた顔が特に寫したいと眞面目臭つてレンズを向けられた時にはそれ程僕の笑ひ顔が珍らしいのかと思はず吹出したところを撮られて終つたわけさ▲共進會では參考館の出品物を七日まで即賣してゐるが中々よく賣れる樣だ▲五日は龍山會計課長等も出馬して各係員はその應接に忙殺されてゐた、商品の目星いものは大抵赤札が貼つてあつたがそれでも一割乃至三四割位割引されてあるのでどし〳〵賣れる然し何を言ふにも商人の手からオイソレと買ふのとは異つて手續を要するので困つたらしい人もあつた▲先達て入京朝鮮ホテルに泊つた三井男の飽までも貴族的なと岩崎男の何處までも平民的なのとはその動作の上に一々現はれてゐたが三井男はボーイの心づけとして五百圓を投げ出したが岩崎男は二百圓しか出さなかつた▲それでもボーイ連中には岩崎男の方が受がよかつたさうである

◉寶生流大會

斯道の大家として盛名ある東京寶生倶樂部理事本間廣清氏來鮮に付き明七日午後一時より旭町萬千閣に謠會を催す由番組は井筒、三井寺、紅葉狩、熊阪、櫻川、玉葛、善知鳥等の素謠、舞囃子にて會費は金三十錢何人も來聽隨意とのこと

◉火事の卵

四日午後十時半頃京城西小門町三十六番地支那人所有空家より發火したる騷ぎに附近の者集り消火したる爲め幸大事とならざしが原因は多分支那人小兒等が夕刻弄火したるもの殘り居り其れより發火したるものならん

◉募集詩歌と賞品

豫て京城協贊會にて募集せる和歌、俳句、詩等の入選せるものに對して同會にては近く賞品を贈るべしと

◉今井氏の講話

日本聖公會、神學院校長今井壽道氏は四日五日の兩夜京城ホテルに於て講話を爲したるが兩夜共多數の官民有志聽講盛況を呈せり

◉聖公會の說教

南米倉町聖公會にて六日午後七時半より日本聖公會神學院校長今井壽道氏の說教ある由

芝居と遊藝

▲劇場不足 須磨子一行は此の巡業の途に上る當時から豫定の計畫であつた、朝鮮に來ることになつた、衰微して振はなかつた京城劇壇も久し振りで活氣を帶びてくる事だらうところで須磨子を容れる劇場が無いといふ、龍山で開演するので龍山の佐久良座に出るといふ、龍山で開演するのが決して變な事は無いが堂々たる京城に相當の芝居らしい芝居の興行が出來る劇場が無いといふのは實に笑止々々しい話だ、所謂物産共進會によつて景氣よく內地に紹介された朝鮮には從來のとは多少毛色の異つた役者も來るだらうその度京城に劇場が無いから龍山で開演するでは京城の面目玉はどうなる、行政區劃なぞを引張り出して龍山は京城で御座いと言つたところで芝居道では決して通らぬ、出來て終つたことは今更仕樣が無いが常座をあんな風にして了つたのが如何にも殘念だ、京城に完全な劇場の出來る事は何より急務であると思ふ

▲虎丸演題替へ ○○○○○○○○ 浪花節の虎丸は連夜大入の盛況を續け來りしが從來の讀物の內一席は四日夜にて讀切たるより五日より同人得意の四谷怪談お岩稻荷を演ずる由

▲壽座の浪花節芝居 浪花節芝居東臨助一座にて開演せり

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手贈呈）

俗謠課題『月』

○月に泣いたはむかしの夢で夢に泣くのが今日の月(一等) 元山郵便局 梅田星華

○今日のお月がラインの河の黑い砦を照らすやら(一等) 釜山南濱町 藤浪佳ゝゝ

○遠い垣根に砧がひびく近い窓から月がさす 京元線平康 みさを

○君の命さあのお月樣高く澄ましてゐるばかり 在龍山元町 金子寛一

□撰者より これから俗謠欄も大發展を試みたいと思ひます就ては讀者にも此の上御後援を相願ひ致します

次回課題 臨竈 發表來る土曜日

私の胃病

一口に胃病と申しても、種々ありますが普通人間の一食は、健康な胃を有つた人で五時間乃至七時間かゝれば其が消化して胃が空虚になり胃を洗つても何も出て來ないが、若此時間より數時間後れて胃を洗つて見た際、尚ほ先きに食べた物の殘りが洗ひ出されますのは是を胃アトニーと言ひ食後二十四時間を過ぎて胃を洗つた時に食べた物が混じつて來れば胃擴張となるのです其他捨て置けば色々の重症になりますから胃が惡ひなと合點された時にはソレ直ぐに五大軍醫の合議製藥評判の胃活を召し上れ

成程胃病には是に限るよふです、流石軍醫の合議製劑といふだけで、餘程研究したものと見える、他の藥を種々と用ゐて見たが又元の胃活へ戾つて來る、分量は少し少ない樣だが効目があつて後に害を殘さず、而して消化と消毒の二つの効用を持つて居るのが特色で、單純なる消化藥では無い、夏の頃に若し、胃病の兆候があれば一時も早く治して置かぬと營養が衰へ、身體が衰弱して、種々の餘病を引起す原因となるのである湯川博士の說に飲料の中等の溫度のものは、胃を溫める効あり、食慾を催しますが熱すぎ又冷へ過たものは胃液の分泌を妨げて害になります、淡ひ茶の少量は精神を興奮させ、消化液を分泌させますが、大量に飲めば、慢性胃カタルを起します。麥湯が一番安心して飲んで善いとのことであります。

廣告

胃病に胃活、泣く兒に乳

用心深き胃弱家は飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ……善は急げ直ぐ御用あれ

定價 胃活錠 壹圓、五拾錢、貳拾錢 胃活 壹圓、六拾五錢、四拾五錢、廿五錢、拾錢

請賣全國及海外要所の各藥店にあり 本舖…東京…大阪…山田安民藥房

京日案內

◉普通 一回前金三十錢(無割引) 四行一回每に金五錢増加

◉日鮮人外務社員招聘 給料手當額談 希望者履歴書携帶至急來談但保證人を要す○黃金町壹ノ六○西村 878

◉男女集金人並に外交員募集 月參拾圓を給す至急來談あれ 櫻井町二ノ一九七△京城雜誌讀會 877

◉有給廣告係及書籍係外交員採用 希望者履歴書携帶本人來談△京城花園町一二三△帝國圖書普及會支部 872

◉生徒募集 シンガーミシン刺繡並に裁縫短期教授○黃金町三丁目△シンガーミシン裁縫院 843

◉貸家 日本建溫突付三室主翁閑靜官吏向 漢陽公園南裏 管理者 龍山印刷局先畑中 827

◉番外 一回前金六十錢(無割引) 四行一回每に金五錢増加

◉募集 新聞配達人數名至急募集す 但し市內に確實なる保證人を要す 希望者本人至急來談あれ○明治町二丁目 町田新聞部 879

◉兵庫縣人大會 ○本月十四日午後二時千代本に於て開催す各位多數出席を望む 會費貳圓五十錢 申込所○發起人總代 白井勝悟 電一四二一 866

◉○當店代替りの風評有之候へ共事實無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候(支那領事館前) 明治町二丁目八九六番 電話一〇九六番 ◯南質店 873

皮膚病花柳病專門 ○樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 802

◉恩給年金類立替 今般業務擴張の爲め左記處へ移轉す (黃金町通櫻井町へ入る西四ツ角) 長電話一一三一番 △博多屋本店 856

齒科 龍山榮町通廿六番地 龍山齒科醫院 819

眞正平壤牛肉 特に軟かくして色頗る美味なる 京城旭町一丁目日出ノ湯角 平壤 山田牛肉店出張所 電話三三四番 832

京城春川間自働車 賃金片道四圓 ◉京城發午前八時◉春川發午後二時 京城明治町一 京春自働車商會 電取次一八四六 支配人 松田壽男 841

患者用寢臺車 一名擔架車 入院なさいます際は之に限ります 南山町三丁目 電話二九三 堀運送社 845

內科小兒科婦人科 本町三丁目總監部通突當り 今村醫院 電話一八三一番 867

平壤名産 玄武燒栗 栗生卸小賣 元祖 玄武堂 京城旭町一丁目 電話取次一五七三番 850

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二三八三番 國江商會 859

◉質舖讓受 目の質物全部を讓受けす向後御用の方は當店に御光來被下度候 明治町二丁目 八木質店 861

◉乳母入用 身體強健三十歲前後の乳母至急入用 希望者は 電話龍山二〇四番へ 833

印入タオル製造 進物用最適 一打五十錢乃至二圓廿錢 印模樣御好次第 電話一五九◉ 南大門學校南側 小野タオル製造所 791

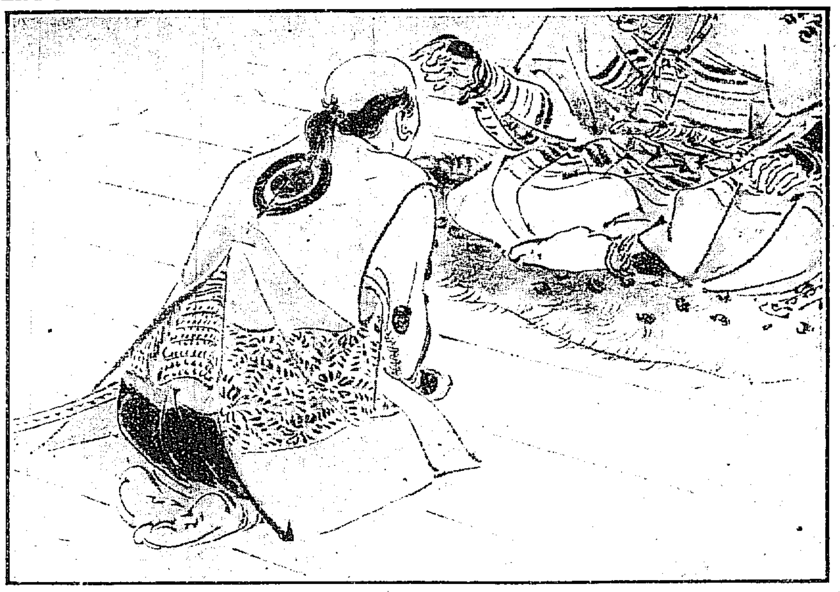
千生瓢 (33)

須藤南翠作 筒井年峰畫

密計(一)

雌雄を鋒鏑に爭ふことを、酒色よりも甚だしく好愛する佐久間玄蕃允盛政は、柳ケ瀨に陣を布いて、全軍の到着するを待つてゐた。やがて三日目の夕方になると、斥候の兵が續々と馳け還つて、羽柴勢の美濃より旗を回して、急行して馳せ向ふよしを報じて來た。

『御參なれ、猿冠者。玄蕃が庖刀振舞はうぞ』と、手薬煉ひいて待つて居た。



程なく先陣の旗指物が近いた。見ると、一方は筒井伊賀守であつた。一方は堀久太郎であつた。元來柴田羽柴の兵を交へるといふ事は、今まで曾て有り得べき事でなく、實に今度が初手合の事である。秀吉が柴田佐久間の英武を深く慮かるが如く、柴田佐久間も秀吉の智略は、飽くまで警戒して居るのである。双方の先鋒は十數町を隔て、近々と陣を据えて、銘々足輕少々を出して、北國方の兵力を捜らうとした。盛政は之れに應じて先手の足輕を出し、手合の鐵砲をうちかけさせた。羽柴勢の鐵砲稍やうち勝つて、槍を入れさうに見えた時、佯り走つて思ふ壺に誘き寄せ、此敵を鏖殺しにして、第一戰の勝利を擧げ、味方の士氣を振作しようと謀つたが、堀久太郎の爲に支へられて、遂に和引きに終つたのを、少からず殘念に思ふのであつた。

秀吉出馬の急使に依つて、勝家の本陣は直にも動くかと思ひの外、猶北庄を出ようとはしなかつた。是れは勝家所勞に依つて、途中より北庄に引き返したまゝ、出陣の沙汰に及ばぬのを焦燥しがり、盛政が屢々早馬を立て、出陣を催促したからでもあつた。

兎に角盛政も戰陣には熟練の雄將であるから、柳ケ瀨一帶の切所には十分に堅陣を布いて、敵に應ずる備へを怠らなかつた。而て種々に敵を欺いて、誘き出さうと謀つたのであるが、羽柴勢は一向に取合はなかつた。盛政は益々脾肉の歎に堪へられなかつた。

一日高峰に登つて敵陣を瞰望する

諸病に奇効を奏する 奇石治療 昨四日の夕刊記事を見よ 治療所 永樂町本願寺前 酒井

と、兵燹を免かれた神社佛閣を毀したり、木を伐つたりして、夥多しい農民が運搬の夫役に奔勞してゐる。見ると本山を始め、岩崎山、左禰山、賤ケ嶽から木本にかけて、堅牢な砦を築いて居る。工事は晝夜兼行で進めて居ると見えて、早や半ば成らうとしてゐるのもある。盛政は山を馳け下ると、直に腹心の郎等を呼んだ。

『其方是れより早馬を以て、北庄へ使者に立たう』

『畏りまいておざりまする。御消息どもおざりませうや』

『いや、筆執る間も焦燥しいわい。匠作に謁して、乾度言上致さう』

盛政は急に聲を低めた。

『今日は玄蕃親く斥候致いた處、筑前守柳ケ瀨の前面を取り切つて、夥多しく向城を建てゝおざる。斯く固に陣を布いて、きつと我が軍を抑へた上は、筑前守は美濃へ引還して、思ひのまゝに三七殿の仕置致さう所存おざらう。斯やうに出鼻を抑へられては、美濃に出て、岐阜の後巻をする事も相成らず、況て上方に打ち出で、敵の根據を覆さんとは思ひも寄らぬ儀でおざる。兎角は砦の出來上らぬうち、討ち破つて快く戰するの外はおざらぬ。早々御出陣なさせられへ。若し御出馬遲滯するに於ては、筑前守をこゝに釣り置く事思ひも寄らず。玄蕃一人罷り向ひて、敗るゝまでも一合戰試み申すでおざらうと言へ。右ても左ても匠作の出馬あるやう、十分言ひ拵えてよいわ』

『心得まいておざりまする』

『疾く往け!』

『ハッ』と言つて郎等は座を立つた。

玄蕃は陣屋の物見に登つて、更に木山の向城を見渡した。農民どもは此天神山の砦を毀つては、之を新城に運ぶのが、蟻の食料を運ぶやうに打ち續いてゐた。

入院隨意(診療夜九時迄)
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘡 皮膚病
泌尿器病 專門
永樂町二丁目 金光敎會隣り
安部醫院 電話一九四番

新刊と批 (批評希望者は編輯局宛御送本のこと)

▲通俗電氣世界(七) 東京麹町有樂町一の三共社
▲大阪朝鮮貿易商報(一三四) 大阪西區北堀江通一の四共社
▲東洋皮革新報(一一の一二八) 定價十錢 大阪東區内淡路町二の七七共社
▲ナシヨナル(十月號) 定價五十錢東京赤坂溜池町二共社
▲農事新報(九の一〇) 定價金六錢東京豐多摩郡淀橋大字角筈七六七共社
▲農業(一〇二) 定價七錢大阪東區味原町一二三共社
▲鑛業新報(一六六) 定價十五錢 東京神田駿河臺袋町一四共社
▲東京パック(十月十五日號) 定價十三錢 東京下谷西黑門町恒愛社
▲市町村雜誌(二六三) 定價金十錢東京芝愛宕町三の二東洋印刷株式會社
▲隨鷗集(一三二) 定價廿五錢東京府豐多摩郡千駄ケ谷町五二四共社
▲名古屋商業會議所日報(一〇二)
▲日本警察新聞(三四七) 定價五錢東京芝愛宕町二の一四共社
▲飾花法盛花投入研究錄(一の二) 理論、花型、材料、挿法、鉢の各編に分け寫眞及圖解を挿み懇切丁寧に教ふる良一讀の値あり(會費一箇月六十錢東京々橋南小田原町二の九大日本華道會)

商況

公債直取引(東京特電)
[illegible]

債券現物特電
[illegible]

大阪期米特電(五日)
二一、八五 二三、〇一 二三、四二

▲五日後場
仁川米豆取引所
[illegible]

▲後場小康
[illegible]

▲期米と正米
[illegible]

▲本日の正物
[illegible]

五日の一月限
十一月限 九圓四十四錢 六千三百石
十二月限 九圓四十二錢 二萬四千三百五十石
一月限 九圓四十五錢 二萬六千九百石

御大典記念
大賣出し特價
十一月七日より一千點限即賣
既成 マント 八圓八十錢より十六圓まで
トンビ 十六圓より二十七圓まで
オーバ 九圓八十錢より十八圓まで
京城南大門通二丁目
丁字屋洋服店

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可時親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製部

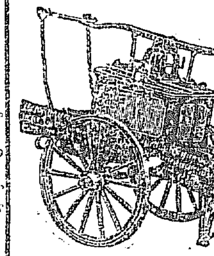
御大典に際し一般家庭の衞生は最も大切なり有名なる消毒用
アルボース
を日々使用し又旅行はアルボース消毒石鹼を必ず御携帶あれ

□御大典記念植樹□
果樹 山林 苗木及び草花
御大典好個の記念事業は植樹なり
植樹は春植よりも秋植の方成績良好なり
原産地と特約し優良品廉價提供
定價表進呈
京日仁川代理部 仁川濱町 電話二四〇番

消化と言ひし 仁丹
御大典の祝賀に人込に 仁丹
是非必要
金言 患は口にある事を知りて家にある事を知らずミ(先哲)

食料品雜貨
食料品 果實 青物 海産物
京城旭町一丁目(電話八四二番)
問屋 岩城馨商店
南大門市場御部 振替口座京城一〇〇六番

消防御用は熊平へ
只一通のお手紙で
京畿道警務部消防係御試驗濟の優秀保證附の堅牢喞筒の御購入が出來ます
京城本町二丁目
熊平支店
(詳細目錄送呈) 電話六二四番 振替京城二二一番



專賣特許 包莖と短小
包莖、短小、老衰、萎縮、早漏等に專賣特許包莖自然療法と米國醫學博士ホリツク氏の眞空療法にて人知れず自身で安全に根治し得らる(東京に類似品あり御注意) 者の禮狀と大阪の實驗報告と圖入明細書 無代密送
大阪市北區北森町 新法研究所

花火
鍵屋
富田煙火製造所
京城三坂通四十七 電話二八七二番

夏を健康で越たき人
今から次亞燐を召上れ
效は牛乳の數倍!腐敗の憂ひなく最も安心
各藥店にあり
本舖大阪道修町 小西久兵衞

かぜねつの最良藥
ハカリ印のヘプリン丸
大阪田口へプリン丸改稱
かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘプリン丸を用ゐて全快せらるべし
各地藥店にあり

ヒゲタ醬油
銚子港 田中玄蕃釀造
代理店 櫻正宗發賣元
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、蕢、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店
電話二八番 振替京城一一二番

新刊書御案内

大正五年博文館日記

當用日記	大形總クロース	五五
同	中形總皮	八〇
同	中形背皮	五〇
同	中形總クロース	三八
同	中長形	三五
同	小形	三〇
懷中日記	上製	一八
同	並製	一二
同	細長形	二〇
同	細小形	一五
ポケット日記	A 厚形總皮	五五
同	B 薄形	四五
同	C 同	六五
同	D 小形	二五
同	E 同	三五
同	F 中形	二五
同	G 細長形	二八
英文當用日記	總クロース	五〇
英文懷中日記	總皮	三五
家庭日記	四六版總クロース	三八
出納記入帖甲	日記兼用	二三
出納記入帖乙	同	二三

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七二

當協贊會殘務目下整理中不遠解散可致ニ付當會ニ對シ債權ヲ有セラルヽ方ハ本月十日迄ニ申出ラレタシ
始政五年紀念朝鮮物産共進會
京城協贊會

目ぐすりの中の目ぐすり
登錄商標 岸田目藥
精錡水

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
吉丸 十一月八日後四時出帆
君が代丸 十一月十日後四時出帆
神代丸 十一月 日後四時出帆
大有丸 十一月 日後四時出帆
○鎭山、大阪行
第二太湖丸 月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行(一割引を以て連絡切符發賣仕候)
○外國航路(遠洋航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
漢城丸 十一月六日 溫州丸 十一月十日 油頭丸 十一月十一日 午後五時出帆
×○木浦、釜山、長崎行 ▲は巨文島の前に寄港
安東丸 十一月九日 ▲天智丸 十一月十八日 午後二時出帆
××○鎭南浦、大連行
安東丸 十一月 日 天智丸 十一月十三日 午後二時出帆
○○木浦、神戸大阪行
薩摩丸 十一月 日 午後五時出帆
△△○群山、釜山、横濱行
千珠丸 十一月廿六日 チヨイサン丸 十一月十四日 午後四時出帆
△△○大連直行
千珠丸 十一月廿日 チヨイサン丸 十一月八日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸 十一月九日 神宮丸 十一月十八日 ▲城津丸 十一月四日 午後三時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
新高丸 十一月十六日 安平丸 十一月 六日 午前十時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運輸 ○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘込相成度候 ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番 二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆

○三河丸 大連太沽牛莊行 十一月八日午前六時出帆
○高砂丸 大連、太沽行 十一月廿二日 正午出帆
相模丸 同 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社(電話長一九五二番・二三二番) 鐵道及社外船、荷客運搬輸送の便あり、詳細は本店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候
京城荷客取扱店 京城南門、門驛前 松原運送店(電話長二七〇)

全羅丸 十一月 日 京畿丸 十一月十 日 黃海丸 十一月十八日 咸鏡丸 十一月八日 門司より釜山各港寄港雄基間 釜山發
穩城丸 十一月 日 昌平丸 十一月 日 鏡城丸 十一月九日 元山より各港經由雄基行 元山發
能登丸 十一月十日 元山發 忠淸丸 十一月十七日 元山發 城津、淸津、浦鹽行(復航)
永興丸 北久味、五里浦行 又は長崎延長 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 十一月六日 釜山發
江陵丸 襄陽丸 長生浦、方魚津寄港 毎日 (釜山浦項)發
三浦丸 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行 十一月八日 釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶賢丸 各港經由麗水行(三日目一回木浦行) 毎日 釜山發
順天丸 各港經由麗水行 麗水より釜山行に接續 三日目毎 木浦發
慶興丸 各港經由濟州島行(西廻) 十一月六日 木浦發
公州丸 南多島海列島行(月三回) 十一月十二日 木浦發
公州丸 各港經由濟州島行(東廻) 十一月 日 木浦發
宗信丸 海州他各港經由、鎭南浦行 十一月 日 仁川發
江原丸 芝罘、大連、營口行 十一月六日 仁川發
麗水丸 十一月八日 普州丸 十一月十二日 各港經由木浦行 仁川發
全州丸 南陽丸 江華島、楊花島、海州行 毎日午前 仁川發
平安丸 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 十一月十六日 群山發 復航 門司、木浦、群山行 十一月十三日 若松發

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船
第[illegible]共同丸 芝罘、大連行 十一月四日後二時入港 十一月六日前九時出港 大連にて貨物運輸の便あり
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 (元山出帆) 十一月 日 後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十一月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 (電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 大門電話(二二六八、二〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十一月十六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十一月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十一月十八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 十一月十一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十一月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山埠頭 立新町 本町取扱店 大池回漕部